

ライオンズクラブ国際協会 331-C地区



2021-2022 年度

第 2 回キャビネット会議

【 別添資料 2 】

～各種会議議事録～

ライオンズクラブ国際協会 331-C地区

伊達キャビネット事務局

〒052-0035 伊達市長和町424番地9 大塚徳浩税理士事務所内

TEL: 0142-82-7100 FAX: 0142-23-1724

E-mail: hokkaidolions331ccab@gmail.com

第 1 回全国ガバナー会（社員総会）議事録

日時：2021 年 8 月 2 日（月）13：30—16：00

会場：ウインクあいち 901 会議室 （名古屋市）

出席者：別紙参照

議事録作成：中谷理事 森口理事

議事録署名人：330-A 地区中井ガバナー、334-A 地区大山ガバナー

藤川専務理事

本日はご多忙のところ、ご出席頂きまして有り難うございます。

只今より 2021 から 2022 年度第 1 回社員総会を開催致します。出席者リストをご覧下さい。今年度の正社員の合計は 59 名と成ります。本日の出席者数は本人出席が 26 名、ウェブ、出席が 30 名、委任出席が 3 名、で定款 17 条、総正社員の過半数が出席していますので、総会が成立致します。また定款 18 条により決議は総出席社員の過半数をもって決します。はじめに理事長に挨拶を頂きます。識名理事長宜しく申し上げます。

識名理事長挨拶

皆さん今日は、今ご紹介頂きました理事長の識名安信です。MD337 沖縄、八重山ライオンズクラブ所属です。新年度に成り 1 ヶ月が過ぎようとしています。本当にご多忙の中ご出席頂きまして感謝致します。開催にあたり 334-A 地区の大山ガバナー、並びにキャビネットの皆様にはご協力頂き、本当に有り難うございました。

7 月に入り各複合地区で GMT の会議を行っています。ご存じの様に前年度は 66 クラブが解散、そして 10,858 名が退会し、4,690 名の減となりました。2015 年から 5 年間で約 280 近いクラブが解散致しました、そして 20,000 人の退会者が出ています。

ここで退会を食い止めなければならない、という一人一人が強い決意を持たなければならない。私達は戦後最大の試練を迎えています。終戦後立ち上がってきた先人の強力な精神力をもって、我々も立ち上がらなければならないのではないのでしょうか。他人の痛みを気づける心をもって行かなければ成らない時期ではないのでしょうか。私達に一般社団法人日本ライオンズも 6 年目を迎え色々な問題もあります、しかし大切な事はその問題に如何に取り組んで行くか、丁寧に 1 つ 1 つ議論を交わして行く事が求められています。単なるクレーマーではいけない、寛容な精神、友愛、総合理解の精神をもってライオンズらしい、そういった社団であって頂きたいと思います。そしてこの 1 年間の皆様の活躍を心から祈念致しまして挨拶と致します。

山田元国際会長挨拶

皆さん今日は、本日はこの暑い名古屋において頂き有り難うございます。

私は、週に 1 度国際本部とウェブでやりとりを行っています、今世界中のいろんな国ではこのコロナ禍だからこそ、ライオンズの力を借りたいと言っています。それに対応しているところです。現在キャンペーン 100 も、ウェブでいろんな事が出来るようになりました。キャンペーン 100 がようやく地に着いてきたというか、世界の人に理解されて来ました。3 年間だった期間がコロナにより 1 年間伸び、またキャンペーン 100 により集めたお金 300 億円の中からコロナ対策に使って来たからです。さて日本ライオンズが出来て 6 年目に入ります、今後しっかりした皆様が理事に入られ、ようやく 5 年たった中で定着してきたかなと思います。

しかしまだまだ色々な単一クラブには理解されて無いと言うか、知られていません。
もっともっとPRして行かなければなりません。
ライオンズも100年が経ち、進化して来ており、時代に合わせて行っています。しかし色々な単一クラブではライオンズがどの様に変化して行っているかわからないままアクティビティーや例会が行なわれています。そういった中でライオンズが面白くなり4,700名近くの方が退会しています。ライオンズに入っていて良かったと思う満足度が、会員の皆さんに伝わって居ません。創設の時から古い感覚がまだ残って居ることが原因かもしれません。私はこの1年間外国に行く事が出来ませんでした。執行役員、アポイント3回を行う中で、本当のライオンズを280ページ程度の本にまとめてみました、この本を読んで頂き、こんなに面白いのか、ライオンズって世界でこんな事をやってるんだと理解して頂ければ、またクラブ員に伝われば辞めるのは損だと思って頂けるのではないかと思います。この本を各キャビネット事務局に送りますので、各クラブ、役員に読んでもらいたいと思います。お役に立てばと思います。そして日本のライオンズをもっともっと改善して行って頂きたいと思います。日本のライオンズを世界の人が待っています。

藤川専務理事

本日のスケジュールの説明、第1議案終了後、別室で第1回理事会を行い、その後全国ガバナー会を再開見込みである。

識名理事長

社員総会開催、定款第16条社員総会の議長は理事長があたるとの説明、議事録署名人及び議事録作成人の指名、議事運営ルールの説明があり。
第1号議案、新理事、監事の選出について、藤川専務理事より説明があり、その後質問、意見を求めるが出席者から質問、意見とも無く、議長により一括採決が提案され全員同意した。
新理事、監事の選出について全員に諮り、理事長より賛成の方は挙手を求められた。
賛成過半数により、新理事、監事の選出は(案)の通り承認された。
その後識名理事長より第1回目の理事会開催、並びに社員総会再開時間について説明があり、社員総会は一時休会となった。

(再開)

識名理事長

第1回理事会報告があり。理事長選任については理事の互選であり、新理事長選挙が行われ、理事長に仁科良三前副理事長が選出された。今後は仁科新理事長が議長となり議事進行をお願いする。

仁科新理事長

只今別室におきまして1回目理事会を行いました。そして選挙にて、私が新理事長に選出されました。選出されました以上は精神誠意一般社団法人日本ライオンズの発展の為にしっかりリーダーシップを取り尽力して行きたいと思っています。
私はライオンズクラブに感謝しています。私は40年ライオンズクラブに所属しています。
来年は、日本にライオンズクラブが来て70年になります。
山田元国際会長の本も読ませて頂きました、今後は楽しいライオンズ活動にして行きたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。
それでは第1回理事会の報告をさせていただきます、まず私が理事長につきまして、副理事長には2年理事からL.松岡(MD335 元議長)、1年理事からはL.山川(MD333 議長)、L.古川(MD337 議長)、

正副4名で今期はやって行きます。

また専務理事にはMD330 議長のL.村木1年理事にお願いしました。それは日本にライオンズの灯が灯って2022年3月で満70年になります。そのアニバーサリーを思い、MD330のL.村木に専務理事をお願いしました。また常務理事は5名の現議長(MD331 L.鶴嶋、MD332 L.下間、MD334 L.山本、MD335 L.三宮、MD336 L.福永)にお願いしました。また今期の事業計画、並びに予算案についても理事会にてご承認頂きました。

以上をもちまして第1回理事会の報告とさせていただきます。

それでは只今より、社員総会の議案、2号議案2020-21年度計算書類及び事業報告について藤川前専務理事から説明をお願い致します。

藤川前専務理事

お手元の資料の2号議案、事業報告について、今回は皆様ご承知の通り殆どがウェブによる開催でした。資料2ページわたりますが各委員会はこの様に行われました。続きまして2号議案の会計報告書ですが、はじめに貸借対照表について、正味財産の増減計算書、財産目録、オリンピック・パラリンピック特別会計、アラート委員会の特別会計その他残高証明書です、以上で2020-21年度事業報告並びに計算書類についての報告と致します。

仁科新理事長

藤川前専務有り難うございました。それでは続いて高橋監事、監査報告をお願いします。

高橋監事

まずは会計報告から致します、8名の監査委員の皆様と7月15日監査致しました、会計につきましては、適正に処理が行われていますという8名の印鑑をついた書類が有ります。それから私ども監事が4名います、皆様お手元に監事監査報告書が有ると思いますので、それをご覧下さい。これは日本ライオンズの定款25条、52条に基づき私ども4名の監事が情報交換を行いながら作成したもので、ここで監査の1、2は会計の監査のことでして、3からは法人の事業に沿った事が書かれています。執行理事会や理事会の在り方、さらに検討する必要があります。4は今期運営組織の在り方について、年度の切り替えについては次期役員人事について、各複合地区次期理事予定者による準備理事会が開催出来る様に、そして事業計画及び予算案の検討を早期に行って頂きたいのです。また、7月1日から第1回目の社員総会までの1月間の委員会活動について、新理事招請により会議が行われなければならないところが、旧役員にて行われるという矛盾を解消出来る様にして頂きたい。また5は災害支援について支援の範囲、優先順位をアラート中で支援詳細規則を作るべきです。6は事務所運営についてベテラン職員の退職後未だに補充されて居ない、職員の疲弊が感じられるので、速やかに職員採用をするか業務の適性分掌する事が望まれます。

仁科新理事長

有り難うございました。只今高橋監事より説明が有りましたが、何か質問がありますか。337-E 地区宮川ガバナーどうぞ。

337-E 地区宮川ガバナー

1年間お疲れ様でした、会議の総括、委員会の総括、成果について触れて頂きたい、また事業報告についてもそうです。337-E 地区の水害に対して大変お世話になりました。感謝申し上げます。監査報告にあります支出明細について、目的外への支出とのバランスについて支出の基準を明確に願います。また、アラート委員会支出報告について、預金通帳のコピーでなく、残高証明をつけてください。

藤川前専務理事

質問有り難うございます。事業内容についてはこの後各委員会報告を行います。
アラート委員会の支出についても、アラート委員会より報告致します。
また、次年度の執行部にも申し送り致します。

仁科新理事長

他にご質問は有りますか。

福永常務理事

MD336 から選出されました福永です、宜しくお願いします。
6月30日の社員総会において、スペシャルオリックス広島大会の承認について承認されたと言う事ですが、MD336 への委託文書をお願いします。
支援金については1クラブ5,000円をお願いします。

藤川前専務理事

その事については、6月30日の理事会と社員総会にて承認して頂いているので、前年度承認頂いたと言う事で実行していただければ良いと思います。

仁科新理事長

それでは、2号議案について、また監査報告を含めて承認頂ける方は挙手をお願いします。
挙手及び委任状を含め過半数をこえていますので、承認されました。
それでは3号議案、4号議案について、藤川前専務理事から説明お願い致します。

藤川前専務理事

まず3号議案事業計画案ですが、会議の開催、集合会議は何回か、個別の各委員会は各委員会にて、日本ライオンズと他団体の協定などについては、執行理事会にて協議を行います。
まず社員総会は年4回、理事会は年6回、委員会は合計年46回 マーケティング委員会ですが、殆どライオン誌作製委員会年12回開かれ、全てがウェブによる開催でした。
続いて収支予算案ですが、事業計画を元に予算を組んでみました。収入の部ですが8万人で組みました。国際協会の補助金も会員減少に伴い減少しますが、前期は繰越金を取り崩し致しましたが、今期していません。支出の部ですが、まずライオン誌の印刷費はページ数を減らしコストを抑えて出版する様にしています。各委員会も旅費の削減を行う様に致しました。
また事務費の中で大きく減額になっているのが人件費です、先ほど監事報告にも有りましたが、職員の退社後補充をせず、業務を一本化して業務をスムーズ行う事、またウェブの活用等リモートワークを取り入れ人件費を抑えることで黒字の予算となっています。
以上でございます。

仁科新理事長

はい有り難うございました、現在こういうコロナ禍ですから、スタートはウェブ会議となると思います。生命が最優先ですがライオンズとしての活動の手は緩めないという方針です。
何かご質問が有りますか。三宮さんどうぞ。

三宮常務理事

今年度 MD335 の議長を拝命しました三宮と申します、どうぞ宜しくお願い致します。
只今の予算案、別に何も質問は有りませんが、通常次年度の予算は次年度を担当する理事、

執行役員が組んで案を出されますが、日本ライオンズでは慣例でこの様形になっており、先ほど高橋監事の話にも有りましたが、次年度からはこういう事は改めて行く必要が有るかと思います。それと MD336 福永議長もおっしゃっていましたスペシャルオリンピックスへの支援につきましては、私も長い間携わって来ていますので、宜しくお願い致します。ただ日本ライオンズの社員総会にて決議して下へ降ろしていくのでは無く、各 MD のガバナー協議会でも議論して頂きたいと思います。

仁科新議長

はい、有り難うございました、他に何か質問がありますか。

はい、下間議長宜しくお願いします。

下間常務理事

識名前理事長には 2 年間、大変お疲れ様でした。

私は、今回が 2 回目の社員総会ですが 1 つ感じた事が有りまして、それは今回第 1 回目の総会で、まだ理事長が決まって無いと言う事でした。

今日の理事会で立候補者を募り、その場で選挙を行うと言っても 22 名の理事がいて今回は 2 名の立候補者でしたが、私は 2 人共あまり知りませんでした。

何時もこの様に行っているのですか。前もって決めておくべきでは無いでしょうか。

監事の監査報告でもあった様に、7 月からすぐに動けるようにするべきだと思います。

もう一つ、ガバナーにはサーバントリーダーを目指せと言いますが、日本ライオンズではトップダウンのイメージが強いと思います。

日本ライオンズの仁科理事長には、サーバントリーダーでお願いします。

仁科新理事長

はい有り難うございました、来年はその様に出来る様にしたいと思います。

藤川前専務理事

はい、今までは議長連絡会が有り、その中に世話人の方がおられ、その方が暗黙の了解で理事長となっていたが、今回はウェブ会議で意思疎通が成されなかった為、また定款などにより社員は 6 月末で決まりますが、任期は事業年度が始まってからなので、7 月 1 日から社員になる、またその後に社員が理事を選任して理事会にて理事長が決まるという事で時間のずれが起こり、今回の様な事になるわけです。

私もこの様な流れを、何時か変えなければいけないと思っていましたので、今期の執行部の皆様に私からもお願い申し上げます。

仁科新理事長

先輩の出来なかった事をやるという事は大変ですが、思いは一緒ですから何としてもやりたいと思います。他に何かありますか、無いようでありますので賛否を聞きたいと思います。3 号議案及び 4 号議案賛成の方は挙手をお願いします。賛成多数で成立致しました。それでは委員会報告をお願いします。まずはオリパラ委員会の松岡委員長をお願いします。

松岡 2020-21 オリンピック・パラリンピック委員長（本年度副理事長）

MD335 の松岡です、宜しくお願い致します。前回の 6 月 30 日の社員総会でも報告致し、また 7 月 9 日に委員会を開催致しました。

MD330 を中心に、皆様方から貴重な資金を頂き事業を行って参りましたが、最後の事業で有ります。障がいの有る子供をパラリンピックへ招待する、これがコロナ禍により中止に致しました。

その為に違約金が発生しましたが、3,000 万の手付金を支払っていましたので、差額が近日中に返金される事となりました。以上です。

仁科新理事長

有り難うございました、それでは続きましてアラート委員会から報告をお願いします。

森川 2020-21 アラート委員長（本年度理事）

アラート委員会からの報告ですが、昨年度アラート委員会では規則を制定させて頂きました。規則の制定に伴い皆様に周知して頂き、また規則に付随する細則を制定して頂きたいと思います。

仁科新理事長

他に委員会で報告の有る委員長は居られますか。はい三宮さんどうぞ。

三宮常務理事

先ほどのオリパラ委員会の残金の件ですが、各地区に返金するとの事でしたが、その件は如何でしょうか。

松岡 2020-21 オリンピック・パラリンピック委員長

申し訳ありません、その件につきましては、残金の金額が本日確定致しました。残金は、各地区の拠出額に応じた金額を返金致します。

藤川前専務理事

先ほど、山田元国際会長がお話しになった本を、各キャビネットへ送りますので、議長は MD にて説明宜しくお願いします。

仁科新議長が、識名前理事長に対し 2 年間の労をねぎらい、粗品を送る。
また閉会宣言を行い、本日の社員総会を閉会する。

議事録作成人

理事（MD331 前議長）中谷宣巨

理事（MD337 前議長）森口孝行

2021年8月2日

議事録署名人

議長・代表理事 仁 科 良 三 【押印省略】

330-A地区ガバナー 中 井 正 力 【押印省略】

334-A地区ガバナー 大 山 恭 範 【押印省略】

一般社団法人 日本ライオンズ 第1回理事会議事録

開催日時：2021（令和3）年8月2日（月）14：00～14：55

場 所：ウインクあいち1101会議室（愛知県名古屋市）

理事総数：22名 / 監事総数：4名

出席者数：21名、欠席：1名（議決権行使書あり）

村木秀之、鶴嶋浩二、下間俊悦、山川洋、山本基博、三宮秀介、福永栄一、古川隆、森川明治郎、中谷宣巨、伊藤明彦（WEB）、石橋貞（WEB）、仁科良三、松岡勲、岡村聖爾、森口孝行、川島正行、渡部雅文（WEB）、藏大介（WEB）、山田實紘、鈴木誓男

出席監事： 竹下直義（WEB）、高橋克文、福田恵太、吉見章一（WEB）

オブザーバー： 識名前理事長、石原副理事長、藤川前専務理事、

14：00、司会藤川清幸前専務理事より開会。

1. 仮議長の選出。

司会者に一任を受け、識名安信Lを仮議長に指名。拍手。

2. 識名仮議長により、定款34条、同22条を確認。

第1号議案 理事長並びに執行理事の選出について

識名仮議長から新理事の中から理事長として立候補する理事の自薦他薦の有無について挙手を求めたところ、森川明治郎前常務理事及び仁科良三前副理事長から立候補の表明があり。各候補者の所信声明後、全理事出席者による無記名投票による選挙を行い、新理事長を決定する方法を説明した。

投票方法について、藤川前専務理事から説明があり。

会場出席理事（17名）には紙による無記名投票、ウェブ出席理事（4名）にはウェブ会議システム（ZOOM）に付随した電子投票機能（投票者が特定されない）を利用すること説明があった。また、理事1名が欠席の為、当日FAXにて議決権行使書を受領しており、それには選出が選挙になる場合には白票とする旨記載があったことの報告があった。

投票はまず先に会場出席者に対して投票用紙が配布され、候補者名を各自で記入の上、投票箱に投入した。次にWEB出席者の電子投票の手順説明と模擬投票のテストが実施された後、本投票が行われた。WEB出席者の集計結果は会場内モニターに表示され（%と票数）口頭報告もあり。合算した投票結果は会場内白板に書き出された。

理事22名による投票結果は；

A. 森川明治郎	8 票	WEB	2 票	計 10 票
B. 仁科 良三	9 票	WEB	2 票	計 11 票
C. 白票	1 票（議決権行使書）			

よって、仁科良三が新理事長として選任された。以後仁科議長が議事進行を行った。

仁科議長から、新執行理事会構成員の指名について候補案があるので、各人の同意を得てから発表されたいとコメントあり。10分の休憩に入る。

再開後、仁科理事長から現議長を中心とした新執行部理事会構成員の発表があり。

副理事長3名：MD333 山川洋、MD337 古川隆、MD335 松岡勲(前副理事長)

専務理事1名：MD330 村木秀之

常務理事5名：MD31 鶴嶋浩二、MD332 下間俊悦、MD334 山本基博、
MD335 三宮秀介、MD336 福永栄一

上記構成案についての賛同

を挙手で求め、賛成多数で可決。。

2. 第2号議案 2021-22事業計画 及び予算案について

仁科理事長からの指名を受けて、藤川前専務理事が事業計画について説明。

質疑応答特になし。事業計画について挙手による賛同を求めたところ、
賛成多数で可決。

続いて予算案について藤川前専務理事からの説明。質疑応答特になし。

予算について挙手による賛同を求めたところ、賛成多数で可決。

14：55、仁科議長により閉会。

以上

2021（令和3）年8月2日

議事録署名人

代表理事 仁 科 良 三 【押印省略】

監事 竹 下 直 義 【押印省略】

監事 高 橋 克 文 【押印省略】

監事 福 田 恵 太 【押印省略】

監事 吉 見 章 一 【押印省略】

2021-22年度ライオン誌日本語版委員会 第1回会議（ウェブ）

日 時：2021年8月17日（火）13:30～15:30

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	川島 正行（茨城県・土浦北ライオンズ㊤）
国際理事	渡部 雅文（岡山県・倉敷西ライオンズ㊤）
国際理事	藏 大介（石川県・金沢伏見ライオンズ㊤）
一般社団法人理事長	仁科 良三（長野みすずライオンズ㊤）
一般社団法人副理事長	古川 隆（337複合地区議長／福岡くしだライオンズ㊤）
一般社団法人専務理事	村木 秀之（330複合地区議長／東京数寄屋橋ライオンズ㊤）
委員	大屋 保（330複合地区／埼玉県・川越ライオンズ㊤）
委員	吉原 成昌（331複合地区／北海道・苫小牧ハスカップライオンズ㊤）
委員	高堂 裕（332複合地区／秋田中央ライオンズ㊤）
委員	星野 勝美（333複合地区／群馬県・太田ライオンズ㊤）
委員	山邊 正重（334複合地区／長野県・上田城南ライオンズ㊤）
委員	団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズ㊤）
委員	玉浦 巖（336複合地区／広島県・三原浮城ライオンズ㊤）
委員	吉田 勲（337複合地区／福岡県・北九州紫水ライオンズ㊤）
事務総長	菅原 雅雄（東京堀留ライオンズ㊤）
欠 席：国際理事	永田 賢司（京都洛陽ライオンズ㊤）



第1回会議開催に当たり、会議の招集者である一般社団法人日本ライオンズの仁科良三理事長からあいさつがあり、ライオン誌印刷版の発行時期を国際協会の統計数値の締めに合わせてるような検討も必要との見解や、デジタル社会が進展する中でデジタルを感じさせないデジタル化が求められており、ライオン誌でも一層の工夫をしてほしいとの要望を述べられた。続いて出席者の自己紹介の後、議事に入った。

【議事】

1. 2021-22年度ライオン誌日本語版委員会委員長、編集長互選

委員長に335複合地区の団英男委員、編集長に333複合地区の星野勝美委員を選出した。

2. ライオン誌日本語版の運営

●2020-21年度決算

2020-21年度ライオン誌日本語版決算を確認した。この年度から国際協会補助金が従来半額の2ドルに減額されたことにより大幅な赤字になるため、予算では赤字補填のために設けられていた繰越金600万円を取り崩すことになった。しかし新型コロナの影響により、取材件数が減って旅費交通費及び外注の製作費が少なくなったこと、また年間4回の予定だった委員会の集合会議が1回のみでその他はウェブ会議になったことから、支出が減少して、年間の収支差額は1,478,764円の赤字に抑えられた。これにより600万円の繰越金取り崩しは行われなかった。

●2021-22年度予算 ライオン誌日本語版関係科目

社団では2021-22年度からライオン誌部門と法人の部門別集計を作成しなくなった。昨年度までは月次決算を確認していたが、今後はライオン誌発行に関する支出状況を予算消化率で把握することとし、今年度の社団予算からライオン誌関連の科目のみを抽出した資料を確認した。ただし、この資料では収入と支出が釣り合わないので評価が出来ないとの指摘があったため、次回委員会からは社団の正味財産増減計算書を資料とし、その中でライオン誌関連科目の予算消化率を把握する。

3. 印刷版関係

●2021年9・10月号（8月20日発行／83,700部）台割

この号から今年度委員会の担当号となるが、8月6日に入稿、13日に最終校了の進行スケジュールだったため、前年度委員で校正紙を確認し編集作業を終えたことが報告された。40ページ建て台割を基に編集された誌面の内容と製作費を確認した。「国際理事だより：藏国際理事、永田国際理事」「編集室：星野委員」、新年度関係の記事として「国際会長テーマ」、「バーチャル国際大会」を掲載。

●2021年11・12月号（10月20日発行）台割（案）

今年度社団予算では直接出版費の印刷費は基本36ページ建て、年6回発行での予算となっている。予算に従ってこれまでより4ページ少ない36ページ建てで作成された台割を確認した。「国際理事だより：川島国際理事」、「編集室：団委員長、星野編集長」。

ページ数減少に伴い、国際協会から印刷版またはデジタル版のどちらかへの掲載が指定されている国際理事会決議事項要録（年3回配信）をこれまで通り印刷版に掲載するか、ウェブマガジンに掲載するか検討。国際協会の動向を伝える重要な情報であり、今後も印刷版に掲載することとした。36ページ

建ての編成については、従来通りの40ページが必要との意見もあった。ページ数は4ページ単位で増やすことが出来、掲載が必要な情報の量によって増ページが可能なことを確認した。

星野編集長からは、国際協会指定記事の内容を含め、ライオン誌の編集及び運営方針を示した「国際理事会方針書第16章ライオン誌」の内容を新年度委員会でよく確認した上、これに沿って編集長の責任を果たしていきたいとの考えが示された。

また、委員会に寄せられている日本ライオンズ大学校の原稿掲載依頼については引き続き検討する。

4. ウェブマガジン関係

- 2021年8月号(8月1日更新) 出来

ウェブマガジン8月号の出来を確認した。

- 2021年9月号(9月1日更新) 更新予定(案)

9月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され、承認した。「テーマ」で予定していた取材日程が延期になり代替の手配が困難なことから、この号は休載する。

- 2021年10月号(10月1日更新) 更新予定(案)

10月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され、承認した。

5. 主要記事予定

- 2021-22年度主要記事予定

今年度委員会が担当する印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

- 2021年7月取材経費

7月に実施した取材の旅費及び外注費の経費一覧が提出され、確認した。

- 2021年8、9月取材経費概算

8、9月取材予定経費概算が提出され、承認した。

6. その他

- ライオン誌サポーター、ライオン誌ITアドバイザー

今年度各地区から推薦のあったライオン誌サポーターのリストを確認した。サポーターには印刷版発行後に行う読後アンケートや情報提供に協力をお願いします。地区推薦の他に、ライオン誌を精読して意見を寄せられる会員がいれば各委員が推薦して協力を依頼する。

昨年度までライオン誌ITアドバイザーとしてご助力いただいていたL荘英隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）に引き続き協力をお願いする。今後はサバンナ（ServannA）を中心にIT関連の助言が必要となった際に委員会に招請する。

●サバンナ（ServannA）関係

ライオン誌の発送にはサバンナに登録されている個人及びクラブ事務局住所を使用している。地区版サバンナを使用しなくなった地区では住所の更新等が行われなくなるため、所属クラブがライオン誌側で用意した専用サイトを使用して更新するか、地区が地区内全クラブ分の発送用データをライオン誌に提供するか、いずれかの方法を選択してもらう。現時点で地区版サバンナの使用停止を把握しているのは330-C地区の1地区で、同地区にはいずれかの選択を求める。また、他にも地区版サバンナの使用を停止する地区がないか把握するため、使用状況について調査を行う。

●2021年クラブ・アンケート集計

ライオン誌が7月下旬から8月にかけて全国のクラブを対象にアンケートを実施し、約56%のクラブから回答があった。アンケートのうち、前年度会員動静の集計データを確認。データはウェブマガジンの「情報資料」に掲載する。また、アンケートで収集したアクティビティ実施予定の情報は今後の取材や編集に活用する。

閉会あいさつ 仁科理事長

【次会委員会開催予定】

9月9日（木）10:00～12:00 第2回会議（ウェブ）

2021-22年度ライオン誌日本語版委員会 第2回会議（ウェブ）

日 時：2021年9月9日（木）10:00～12:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	渡部 雅文（岡山県・倉敷西ライオンズ㊿）
国際理事	藏 大介（石川県・金沢伏見ライオンズ㊿）
国際理事	永田 賢司（京都洛陽ライオンズ㊿）
委員長	団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズ㊿）
編集長	星野 勝美（333複合地区／群馬県・太田ライオンズ㊿）
委員	大屋 保（330複合地区／埼玉県・川越ライオンズ㊿）
委員	吉原 成昌（331複合地区／北海道・苫小牧ハスカップライオンズ㊿）
委員	山邊 正重（334複合地区／長野県・上田城南ライオンズ㊿）
委員	玉浦 巖（336複合地区／広島県・三原浮城ライオンズ㊿）
委員	吉田 勲（337複合地区／福岡県・北九州紫水ライオンズ㊿）
一般社団法人副理事長 PRマーケティング委員長	古川 隆（337複合地区議長／福岡くしだライオンズ㊿）
事務総長	菅原 雅雄（東京堀留ライオンズ㊿）
ITアドバイザー	荘 英 隆（東京恵比寿ライオンズ㊿）
欠 席：国際理事	川島 正行（茨城県・土浦北ライオンズ㊿）
委員	高堂 裕（332複合地区／秋田中央ライオンズ㊿）



団委員長の開会あいさつの後、渡部、藏、永田各国際理事、一般社団法人日本ライオンズの古川副理事長からあいさつがあり、団委員長、星野編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2021-22年度7月度ライオン誌関係会計報告

社団の正味財産増減計算書（2021年7月1日～7月31日）を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。7月は印刷版ライオン誌の発行がないため、印刷費やライオン誌送料は発生せず、直接出版費は70,683円で年間予算の消化率は0.3%。ウェブマガジン7月号は新型コロナの影響で外部カメラマンを伴っての取材記事は1本となり、経費が抑えられた。デジタル版関連費は225,754円で消化率3.6%だった。

2. 理事会方針書と公式版ライオン誌

●理事会方針書第16条「ライオン誌」編集方針の要点

前年度委員会での星野編集長の提案を受けて、公式版ライオン誌の編集及び運営方針を示した方針書第16章にある編集方針の中から、公式版の誌上に表記すべき事項や掲載指定記事、禁止事項などの要点と、日本語版における掲載状況を確認した。日本語版は国際ニュース交換センターで配信された指定記事は方針に則って掲載しているが、ライオンズ紋章に加えて誌面に表記しなければならないとされている「We Serve」のモットーについては、2020年1・2月号でページ数を削減して以降、記載漏れとなっていたことが分かった。次号11・12月号からは方針通りに表記する。

●公式版ライオン誌の発行状況

理事会方針書に基づき発行されている各公式版ライオン誌のうち本部版を始めとするいくつかの版の発行回数・ページ数と、国際協会ウェブサイト内にある各公式版共通プラットフォームのデジタル版を確認した。各公式版の印刷版は発行義務の下限である年2回から年11回まで、国によって開きがある。またデジタル版についても、韓国語版やドイツ語版など国際協会の共通プラットフォームを利用せずに独自にデジタル版を公開している国もある。日本語版は縦書き・右開きの特殊性とデジタルのメリットを生かす観点から独自にウェブマガジン設けているが、共通プラットフォームにも毎月ウェブマガジンの記事を掲載している。今後、各公式版の発行状況も参考にしながら、日本語版のデジタル化の進め方を検討していく。

3. 印刷版関係

●2021年9・10月号(8月20日発行／83,700部)出来

発行済みの9・10月号を確認した。「国際理事だより：藏国際理事、永田国際理事」「編集室：星野委員」、新年度関係の記事として「国際会長テーマ」、「バーチャル国際大会」を掲載した。

●2021年11・12月号(10月20日発行)台割(案)

基本36ページ建ての台割を確認した。「国際理事だより：川島国際理事」、「編集室：団委員長、星野編集長」、「日本ライオンズ情報」は古川副理事長による原稿を掲載。「奉仕活動」は予定していた3本の取材がアクティビティの延期などで中止となり、現時点では代替1本のみの見込みとなっている。空きが出る2ページ分は、東京パラリンピックに日本代表として出場した日本ライオンズ支援選手の活躍を伝える記事を掲載する。前回委員会で従来通り印刷版に掲載することを決めた国際理事会決議事項要録には、「日本ライオンズ物語」を休載して2ページを充てる。

●国際本部からの印刷版記事掲載依頼

今年度最終年を迎えたLCIFキャンペーン100の目標達成に向け、全公式版の

印刷版にLCIFの記事（8ページ）及び表紙写真を掲載するよう協力を求めるLCIF理事会及び国際理事会からの依頼が、国際本部から届いた。12月半ばに翻訳・レイアウト済みの記事を国際本部から提供し、22年1～3月に発行する号の指定記事にすることを検討中とのことで、指定記事として配信された場合は掲載は必須となる。日本語版の場合、掲載可能な号は2022年3・4月号（2月20日発行予定）となり、基本の36ページ建てに8ページを追加場合の追加費用は、印刷代と編集費の概算で50万円程度が見込まれる。これらを踏まえ、配信される8ページ分を追加するか、基本36ページの台割の範囲内で調整するかを協議した。国際協会の要請であり、1号に限ってのことでもあるので、通常の記事を削減するのではなく、追加費用がかかっても8ページ増やして掲載すべき、との意見で一致した。国際本部の依頼通りに記事配信があった場合は、22年3・4月号は8ページ増の44ページ建てとする。今年度から36ページ建てが基本となるが、今回のような国際協会の要請を含め読者会員に伝達すべき情報や記事が基本台割内で収まり切らない場合には、委員会で検討して増ページが必要か否かの判断を行う。

4. ウェブマガジン関係

- 2021年9月号（9月1日更新）出来

ウェブマガジン9月号の出来を確認した。

- 2021年10月号（10月1日更新）更新予定（案）

10月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され、承認した。「奉仕活動」は予定していた取材3本が中止となって代替を準備しているが、この号では1本のみになると見込まれる。

5. 主要記事予定

- 2021-22年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

- 2021年8月取材経費

8月に実施した取材の旅費及び外注費の経費一覧が提出され、確認した。

- 2021年9月取材経費概算

ウェブマガジンの取材候補が固まらないことから取材経費概算の提出はなかった。取材候補が決まり次第、委員長、編集長の承認により取材を進める。

6. その他

- 小委員会の設置

団委員長から、昨年度に引き続き小委員会を設置して、ライオン誌の健全な運営とより多くの会員に読まれるための方策を推し進めたいとの提案があった。下記の二つの小委員会の設置と構成を決定した。

【財務小委員会】

- 職務分掌：委員会の健全な財務運営についての答申
- 委員：玉浦委員（委員長）・大屋委員・団委員長・吉田委員

【ウェブマガジン推進小委員会】

- 職務分掌：ライオン誌日本語版デジタル化推進についての答申、その他委員会の依頼事項
- 委員：星野編集長（委員長）・吉原委員・高堂委員・山邊委員
- オブザーバー：荘ITアドバイザー

ウェブマガジン推進はライオン誌日本語版委員会にとって喫緊の課題であることから、ウェブマガジン推進小委員会の星野委員長から求めがあった場合は、財務小委員会のメンバーも議論に参加する。

●「障害」の表記について

ライオン誌では一般的な新聞表記に準じて表記の統一を行っている。現在はそれに従って「障害」と漢字で表記することを原則とし、固有名詞やクラブの求めがあった場合は「障がい」としている。ライオン誌においてはどのように表記するのが適切か、過去に検討を行った委員会の報告と、NHK放送用語委員会（2019年11月）の調査・検討結果を参考としながら意見を交換した。協議の結果、常用漢字表に基づいた表記が適切であり、放送用語委員会でも漢字表記を原則と結論づけていることから、これまで通り「障害」の漢字表記を原則とし、必要に応じて「障がい」の表記も用いることとした。

●サバンナ（ServannA）関係

330-C地区ではMyLCIとサバンナの切り離しに伴い、昨年度から地区版サバンナの使用を停止した。しかしライオン誌の発送にはサバンナに登録されている会員及びクラブ事務局住所を使用しており、住所の随時更新が必要である。330-C地区に、①ライオン誌発送データ更新に特化したサバンナ・サイトで住所更新を行うか、②地区からライオン誌への発送住所データを提供するか選択を求めたところ、①を選ばれたため、330-C地区版サバンナからライオン誌発送データ更新用サイトへの切り替え作業を進める。

●ライオン誌サポーター

前回委員会で団委員長から、地区推薦サポーター36人に加えて委員からのサポーター推薦の呼びかけがあった。現時点の委員推薦サポーターは15人。委員推薦は9月15日（水）を締切とし、推薦するメンバーの氏名・クラブ名・Eメールアドレスを事務局へ連絡する。

閉会あいさつ 団委員長

【次会委員会開催予定】

10月7日（木）14:00～16:00 第3回会議（ウェブ）

第1回 8複合地区 GST コーディネーター会議 議事録

日 時：2021 年 8 月 18 日（水） 13：30～16：25

会 場：ウインクあいち 18 階小会議室 及び web による

出席者：GAT 日本全域リーダー 元国際理事 L.中村 泰久

GAT エリアリーダー L.鈴木 誓男

GAT エリアリーダー L.識名 安信

330 複合地区 GLT コーディネーター L.濱野 雅司

330 複合地区 GST コーディネーター L.井田 渉

331 複合地区 GST コーディネーター L.松浦 淳一

332 複合地区 GST コーディネーター L.岸 秀年

333 複合地区 GST コーディネーター L.田中 勝司

334 複合地区 GST コーディネーター L.浜島 清美

335 複合地区 GST コーディネーター L.江草 長史

336 複合地区 GST コーディネーター L.澤 辰水

337 複合地区 GST コーディネーター L.高橋 抒見

OSEAL 調整事務局 局長 マーズ 佐子

GAT スペシャリスト 畠山 直子

1. GAT 日本全域リーダー挨拶と報告

今期は特に GAT 横の連携を強めることで、会員維持・増強を図りたい。GST においては、MyLion 報告率アップもさることながら、コロナ禍におけるインパクトの高い、そしてメンバー満足度の高い奉仕活動を準地区・クラブへ紹介できることが大切。

また、GMA プログラムにおいて、GST には「質の高い奉仕活動」についてのフォローをお願いしたい。

2. GAT エリアリーダー挨拶

鈴木 誓男 エリアリーダー

近年の退会者数の推移を鑑みると、各地区が2～3クラブをエクステンションしなければ、会員純増は為し得ない。そのためには、GAT メンバーの垣根を取り払って取り組んで欲しい。

識名 安信 GST 担当エリアリーダー

現下の会員減少を食い止めるためには、感動のあるアクティビティ、ニーズに沿ったアクティビティを実践することで、メンバーのライオンズスキルが高まっていくこと、崇高な精神を感じ合えることが大切と考える。つまり、これまでのアクティビティを見直し、継続すべきこと、見直すべきこと、今求められることを深く考え、実践していくことより他にはないと思われる。

3. 2021-2022 年度 GST の優先事項・活動計画と考え方について

「感動を覚える活動」を通じて、メンバー満足度を高めることに尽きる。そのための有用な情報を地区・クラブへ届けることが GST の優先事項と考える。

① 地区 GST・ゾーンを通してクラブへの働きかけ

- ・web ミーティング：地区 GST との連携を日本全体で図る
- ・『思いやりは大切なことアワード』の奨励喚起を通じて、アクティビティ成功例の集積を図る

② 他チームとの連携の強化

GST 主催のチャリティ企画などを実践することで、LCIF キャンペーン 100 への貢献を模索したい。

今期の活動を成功させるためには、地区コーディネーター、ゾーン・チェアパーソンとの連携がカギとなる。皆さんで、成果を上げて祝いあえることを願っています。

4. 2021-2022 年度複合地区今期の活動目標や行動計画・予定等の報告

MD330 L 井田 渉

今期の主な計画

- ・MyLion 報告率の地区目標達成
- ・複合地区内でのグループディスカッションについて、説明があった。

MD331 L 松浦 淳一

今期は地区コーディネーターもガバナー協議会のメンバーに入っていただくこととなり、GAT の連携強化を図るための体制を作ることができた。また、奉仕活動では、8 月 8 日に開催した札幌でのシングルマザー食糧支援活動は、今後の活動に示唆を与えるものとなった。今後継続する中で、よりインパクトを高めていきたい。

人口分布に偏りのある複合地区ではあるが、地域に根ざして多くのメンバーを確保しているクラブもある。そのような成功例を紹介しながら、複合地区全体を盛り上げていきたい。

MD332 L 岸 秀年

本来は明日ガバナー協議会が開催される予定だったが、急遽中止となった。GST コーディネーター会議は 8 月 26 日に web で開催する。

中心的な活動としては、昨年度取り組んだ「地域社会奉仕ニーズ調査」を今期も継続的に展開する。また、地区ガバナーが掲げる地区目標の中でも特に MyLion 報告率について、数字の推移を注視しながら、目標達成に向けて支援したい。

332-A 地区が GMA パイロット地区となっているので、複合地区内の全地区コーディネーターには、A 地区の推移を見守り、支援することで、来期の GMA 本格スタートに向けた準備を図りたいと考えている。

MD333 L 田中 勝司

昨年度は地区ガバナーとして奔走していたため、未だ GST コーディネーターの役割について理解が不十分ではない状況。会員増強に向けて、GLT・GMT・FWT コーディネーターとの連携を強化しながら取り組まなければならないと認識しているが、具体的な活動については、不明なことばかりなので、教えていただきたい。

MD334 L 浜島 清美

8 月 11 日に GST 会議を開催した。地区ガバナー、ゾーン・チェアパーソンとのコミュニケーションを強化する方策として、協議会議長より複合地区 GAT 会議を開催してもらうこと、準地区のキャビネット会議、ガバナー諮問委員会に GAT も出席させていただくことなどが挙げられた。また、若年層のメンバー交流会の中で、自らがやってみたい奉仕活動についてアイデアが挙げられたことを受け、それらを地域ニーズとマッチングをして、実践に結びつけることができればよいと考えている。多くのメンバーが共感する感動のアクティビティをストーリー仕立てにして紹介することで、感動の共有を図りたい。

MD335 L 江草 長史

7 月末に GST 会議を開催した。主な取り組みとしては、

- ・グローバル奉仕プログラムの推進
- ・視力保護プログラム（甲南大学での古眼鏡回収プログラム）
- ・アドボカシープログラム（京都でのイエローリボンプログラム）
- ・MyLion 報告率 100%達成

を考えている。

特に古眼鏡回収プログラムについては、甲南大学で収集が始まっており、主体となって活動するクラブとの橋渡しをしているところである。

また、京都において、一般市民の方々を対象に盲導犬だけでなく聴導犬、福祉用具についての PR をする準地区奉仕活動が計画されており、複合地区からの支援を検討中である。

MyLion 報告率については、前期 100%達成地区には、今期世界最速 100%を目指していただく。

MD336 L 澤 辰水

8 月 26 日にガバナー協議会が予定されているが、開催できるかは不透明な状況。地区としてはアラート活動に力が注がれており、地域社協との連携などが進められている。

MD337 L 高橋 杼見

新任コーディネーターとして、皆様の力を借りながら、MD337 を盛り上げていきたい。GST として、地域で注力されている献眼・角膜移植推進活動は、より多くのクラ

ブで取り組まれるよう支援していきたい。

5. 協議事項

- ・「思いやりは大切なこと」アワードの今後の進め方についての確認
マーズ局長より、各レベルの推薦書提出期限の延長案について説明があった。
提出期限の延長及び、推薦書式の変更について承認された。
- ・クラブ参加奉仕アクティビティウェブセミナーの開催計画について
中村日本全域リーダーより、趣旨についての説明があった。
11月頃の開催に向けて、詳細を検討していくこととなった。
- ・今期活動計画について
MD330GLT コーディネーター濱野雅司 L より GLT の取り組み内容について説明があった。
 - 次世代リーダーシップの育成
 - 会員維持及びクラブ活性化という点について、GLT・GST が共有する事柄となっている。これらを連携して取り組む必要性が確認された。

6. 事務局報告事項

- ・MyLion 報告状況について
- ・アドボカシーについて
- ・地域ニーズ調査ほか、GST 関連国際協会リソースについて
それぞれマーズ局長、畠山 GAT スペシャリストより説明があった。

7. その他

次回会議開催予定は9月末と確認された。

一般社団法人 日本ライオンズ
2021-2022 年度 第 1 回 YCE 委員会【WEB】要録

◎日時：2021 年 9 月 29 日（水）13:30－15:30

◎場所：各 PC から接続（ウェブ会議接続システム Zoom 利用）

◎出席者：

330 複合地区 YCE 委員	青 木 秀 茂	(330-A 地区 東京吉祥寺 LC)
331 複合地区 YCE 委員	大 澤 勝 雄	(331-B 地区 釧路ぬさまい LC)
332 複合地区 YCE 委員	高 堂 裕	(332-F 地区 秋田中央 LC)
333 複合地区 YCE 委員	小 吹 勇	(333-E 地区 石岡 LC)
334 複合地区 YCE 委員	加 藤 万 寿 夫	(334-B 地区 土岐織部 LC)
335 複合地区 YCE 委員	吉 川 二 郎	(335-C 地区 奈良 LC)
336 複合地区 YCE 委員	高 橋 淳	(336-C 地区 広島デルタ LC)
337 複合地区 YCE 委員	北 由 美 子	(337-D 地区 鹿児島第一 LC)

第 1 回 YCE 委員会会議招集者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	仁 科 良 三	(334-E 地区 長野みすず LC)
委員長 (MD334 議長)	山 本 基 博	(334-B 地区 恵那 LC)
専務理事	村 木 秀 之	(330-A 地区 東京数寄屋橋 LC)
一般社団法人日本ライオンズ 事務総長		
	菅 原 雅 雄	(330-A 地区 東京堀留 LC)

オブザーバー

333 複合地区 YCE 特別委員	大 久 保 雄 司	(333-E 地区 水戸 LC)
334 複合地区 YCE 副委員長	川 嶋 秀 典	(334-C 地区 浜松葵 LC)

◎ 開会の辞

- 村木専務理事は開会を宣言し、開会のあいさつを仁科理事長に依頼した。

(仁科理事長)

◇ 私は 334-E 地区長野みすず LC 所属、ライオン歴 49 年のチャーターメンバーです。2021-2022 年度一般社団法人日本ライオンズの理事長として皆さんと共に日本ライオンズを運営していくことになりましたので、よろしくお願いいたします。

(一社) 日本ライオンズにはこの YCE 委員会を含め 8 つの委員会があり、ライオン誌委員会、アラート委員会、会則委員会の会議がすでに終わっており、今後予定されている委員会会議もすべてウェブで開催予定です。昨年度、私はこの日本ライオンズ YCE 委員長をさせていただきました。今年度も委員をしていただいている高橋委員 (MD336) からこの新型コロナウイルス感染症拡大はすぐには収束しないであろうという見解をいただきながらも、各委員は早期の収束を期待していたと思いますが、今日まで引き続き派遣・受入が実施出来ない状況にあります。その状況の中、昨年度は「花の咲かない時は根を伸ばそう」ということで、YCE の長い歴史の中でそれぞれの MD で培ってきた想いや慣習など、日本全体で統一してい

るというわけでは無かった事柄について加藤委員（MD334）をはじめこの YCE 委員会で整備できるところをしてきました。YCE 委員に留任できる人は留任して欲しいとして前年度を締めくくりましたが、多くの方が留任されているので、今年度に期待したいと思います。今後、新型コロナウイルス感染症拡大は続く可能性もあると思いますが、10 月 1 日より「緊急事態宣言」が解除されることなり、行動制限も少し緩和されることを受け、「with コロナ」ということで感染症対策を十分とった上で、出来るところから集中してライオンズクラブ活動をしていきたいと思っています。今回は私が招集者ですが、次回以降は山本委員長中心にこの YCE 委員会を進めていっていただきたいと思っています。

◎ 本日の出席者確認及び進行について

- 村木専務理事は山本委員長に議事録作成人指名および議事進行を依頼し、また、出席者の自己紹介を依頼した。
- 出席者は自己紹介をした。
- 山本委員長は MD333 大久保 YCE 特別委員と MD334 川嶋 YCE 副委員長のオブザーバー参加を認めた。
- 山本委員長は前年度から 6 人の委員が留任したことに言及した。

◎ 議事録作成人の指名

- 山本委員長は加藤委員（MD334）と吉川委員（MD335）を議事録作成人に指名した。

◎ 議案

1. 基本方針の確認

- 山本委員長はライオンズ国際協会ウェブページ掲載の YCE 基本方針を示し、YCE 事業の目的を確認し、この事業が 60 年続いてきた意義について言及した。

2. YCE 委員会の引継ぎ報告

- 山本委員長は YCE 引継ぎ報告についての説明を加藤委員（MD334）に求めた。
- 加藤委員（MD334）は下記の事項について説明した。
 - 前年度「複合地区 YCE 委員長の手引き」「幹事旅行代理店業務内容（例）」「YCE 不測事態によるキャンセル時と緊急時連絡方法」「派遣生の出発前オリエンテーション資料」「YCE リーダー・サブリーダーの手引き」を実態に則した分かり易い資料に改訂した。
 - 2021 年冬期交換の中止が申し送られた。
 - 前年度、加藤委員（MD334）より提案があった「YCE 海外交渉通信窓口」制度について本年度に協議すること、そして、協議するにあたり月 1 回の会議開催の要望について申し送られた。
 - 仁科前 YCE 委員長から委員会名称を YLO とし、YCE 事業、LEO および YCE-OB 会活動が青少年育成事業を総合的に推進できる体制を整えたいとの提案が申し送られた。
- 北委員（MD337）より前年度改訂した資料を編集可能なワード形式資料の要望があり、今年度の各委員および写しを各 MD 事務局に送ることとした。

3. 本年度の審議事項

（1）2022 年春期・夏期交換について

- 山本委員長は 2022 年春期・夏期について各委員の意見を求めた。
 - 青木委員（MD330）は窓口国の春期交換タイおよび夏期交換 MD4 との通信内容について下記のように報告した。
 - ・ タイ（MD310）新委員長 PDG スパに「日本において新規感染者数は減少傾向にあるが交換実施は困難である」と伝えた。それに対しタイは「新規感染者数は減少していないが、交換実施については新規感染者数だけではなく他の要素も加味する必要がある、引き続き情報交換したい」の要望があった。
 - ・ MD4 新委員長アンジェラ・ルイス氏から「ユースキャンプ日程は 2022 年 6 月 27 日～7 月 2 日、7 月 3 日からはロサンゼルスとサンフランシスコにてホームステイを予定している。申請があれば参加可能である。」との情報を得た。それに対し青木委員（MD330）は「6 月下旬から 7 月上旬は学校の問題があり参加は困難であるため、例年通り 8 月で企画できるかどうか。また、日本における新型コロナウイルス感染症拡大状況があるので、参加できるかどうかの判断はもう少し時間がかかる。」と伝えた。
 - 青木委員（MD330）は日本ライオンズ YCE 事業（ユースキャンプ及び交換）の実施、中止の判断基準について、山本委員長に質問した。
 - ・ 山本委員長は青木委員（MD330）の質問に対し、YCE 事業の実施・中止の判断については各通信窓口国の情報を得て本委員会にて決定すると回答した。
 - 大澤委員（MD331）は MD331 各準地区 YCE 委員長とウェブで会議をし、前年度の申し送り事項を報告した。そして、現在、各準地区で伝えていただいている状況である。10 月 12 日 MD331 ガバナー協議会に MD331 各準地区 YCE 委員長が出席するので、その時に本日の本委員会内容を伝えると回答した。
 - 高堂委員（MD332）は MD332 では未だ委員会会議を開催していないが、準地区 YCE 委員長と個別に情報交換をしている状況であり、その中で交換の実施もしくは中止決定の時期などプロセスについてどのようになっているのかという疑問の声が多々あったことを報告した。そして、MD332 内において新型コロナウイルス新規感染者数はそれほど増加しているわけではないが、青少年たちを集団で派遣、受入することは現在の状況においては困難であり、当分の間、交換実施は難しいであろうという感覚であると述べた。
 - 小吹委員（MD333）は 8 月 25 日に MD333YCE 委員会会議を開催し、全国の複合地区と一部の通信窓口国を対象に今後の YCE 事業についてリサーチをした結果、現在のコロナ禍においては派遣・受入は困難であり、2022 年 YCE 事業の実施は不可能であろうという意見が多かったと報告した。そして、本委員会各委員の意見、方向性を確認した上で判断する状況であると述べた。
 - 加藤委員（MD334）は MD334YCE 委員会を 7、8、9 月と 3 回開催し、下記の理由により 2022 年春期・夏期交換の中止を本委員会に提案することを決議したと報告した。
 - ・ 現在の状況において 2022 年春期交換は不可能である。

- ・ 夏期派遣の予備調査は例年 9 月下旬から開始する関係上、今回の本委員会第一回会議にて 2022 年夏期交換の実施もしくは中止の決定をすべきであり、現在の状況においては中止すべき。
- 吉川委員(MD335)は今年度 MD335YCE 委員会を 2 回開催予定であったが、緊急事態宣言によりいずれも中止となり 10 月 4 日に開催予定であるので、各委員と個別に情報交換をした結果、2022 年夏期交換について「派遣生募集に応募があるかどうか、また、ホストファミリーの受け手があるかどうかという点において」困難であろうという意見が多かったと報告した。
- 高橋委員 (MD336) は MD336YCE 委員会会議未開催であるので、高橋委員個人の所感として、春期・夏期交換実施の条件は「2 週間という自主隔離期間が必要なくなる事」「新型コロナウイルスが通常の風邪と同じくらい大きく弱毒化する事」「内服の特効薬が開発される事」であり、現在の状況からすると今後、3 年くらいは YCE 事業の実施は不可能との印象を持っており、2022 年春期・夏期交換は中止の決定をすべきであると述べた。
- 北委員 (MD337) は MD337 の窓口国は 6 ヶ国あるが現在は交換実施もしくは中止の日本の決定を待っている状況である。MD337YCE 委員に個別に確認したところ、派遣については海外の新型コロナウイルスを恐れ、派遣申請が無い、来日についてはホストファミリーのなり手がいないとの予測があり、また、9 月から 2022 年夏期派遣の準備が始まっているので、本委員会の決定を待っていると述べた。
- 山本委員長は各委員の意見を聞いた上で、安全性を最優先に考えなければならない事業であるとの理由により 2022 年春期・夏期交換は中止すべきとして、各委員の同意を求め、全員一致で 2022 年春期・夏期交換中止を決定した。

(決定事項) 2022 年春期及び夏期交換は中止とする。

(2) 日本ライオンズ YCE 委員会 会議開催日程について

- 山本委員長は本委員会の 2022 年春期・夏期交換中止の決定を受け、交換事業がある場合の YCE 委員会活動計画とは大きく変更となるが、日本ライオンズ YCE 事業の課題を協議する必要があると、基本的に月一回の会議開催を目指すことを提案し、各委員は承認した。
- 山本委員長は 2022 年冬期交換について今年度末くらいから検討を始めたいとの意向を示した。

(3) 日本ライオンズ YCE 海外交渉通信窓口システムについて

- 山本委員長は日本ライオンズ YCE 海外交渉通信窓口システムについて加藤委員 (MD334) に説明を求め、加藤委員はスライドを使用し、「通信担当窓口としての役割の確認」および「日本ライオンズ YCE 海外交渉通信窓口システムの概要」について説明した。
- 加藤委員 (MD334) は下記の MD334YCE 業務の課題および方向性について説明した。
 - YCE 業務担当事務局員が 2023 年 3 月に定年となる。

- MD334 は通信窓口としてヨーロッパ 29 カ国を担当している。
- YCE 業務に精通している事務局員不在となった場合は、MD334YCE 委員会委員 7 人で通信業務を担当する必要があるが、29 カ国と通信業務を行うには困難が多い。
- 前年度、今年度の MD334YCE 委員会において YCE 通信業務を YCE 委員のみで行う場合について協議を重ねた結果、3 カ国であれば可能かもしれないという結論に達している。
- 通信する国を 29 カ国から 3 カ国に減少させた場合、日本全体の交換数の減少が考えられる。
- 日本全体の交換数減少を解決することについて本委員会にて協議したい。
- 前年度、本委員会において MD334 は担当しているいくつかの通信窓口国を他 MD で担当することの可能性について尋ねた。
- 加藤委員 (MD334) は MD334YCE 業務の課題について集合での協議を要望した。
- 山本委員長は MD334 の課題について、各 MD にこの課題の再認識と理解を求め、各 MDYCE 委員会での協議を依頼し、今年度中に何らかの結論を導きたいとした。
- 吉川委員 (MD335) より加藤委員がスライドで説明した交換数はキャンプ参加者も含むかとの質問があり、加藤委員はキャンプ参加者も含めた交換数であると回答した。
- 吉川委員 (MD335) よりヨーロッパの国を通信窓口国として担当する場合、ヨーロッパ YCE 委員長会議への出席義務があるかと質問があり、加藤委員はヨーロッパ YCE 委員会に出席しない国もあり、必ずしも出席する必要はなく、その場合はメールなどによって通信すると回答した。
- 北委員 (MD337) は MD334 が担当しているいくつかの窓口国を MD337 が担当することについて前向きに検討していると述べた。
- 北委員 (MD337) は担当窓口国との契約について、各 MD に下記の項目について調査を依頼した。
 - 契約書の有無
 - 契約書の内容
 - キャンプ情報入手過程
- 北委員 (MD337) は担当窓口国との契約については日本レベルで統一し、その契約書を元に各国と交渉した方がよいと意見を述べた。
- 北委員 (MD337) は YCE 業務担当事務局員の退職という課題は各 MD とも共通した課題であるとして、下記のアイデアを提案した。
 - 日本ライオンズが一括して YCE 海外交渉通信を行い、派遣・来日の分配をする。
- 北委員 (MD337) はライオンズクラブ国際協会 YCE ディレクトリ (YCE 委員長情報およびキャンプ情報) に言及し、現在、YCE ディレクトリへの登録がはっきりされていない様子であるので、日本ライオンズにて YCE ディレクトリへの登録について確認を依頼した。

- 青木委員(MD330)は前年度田中委員より引継ぎがあり、9月初旬のMD330YCE委員会においてMD334の課題について「2ヵ国くらいは担当してもよいかどうか」について協議をし、継続審議中であると報告した。
- 青木委員(MD330)はMD330YCE委員会会議にて通信窓口制度を縮小して、各MDが国際協会YCEディレクトリにYCE委員長情報およびキャンプ情報を登録し、MD単位でYCE事業を行うという方法についても議論され、この方法も選択肢として模索することが可能かどうかも本委員会での意見も参考にしながら10月のMD330YCE委員会会議にて協議していきたいと述べた。
- 青木委員(MD330)は加藤委員(MD334)が示したスライド資料送付を希望し、山本委員長は加藤委員にそのスライド資料の配布を指示した。

(4) ユニフォーム・頒布品について

- 山本委員長はユニフォーム・頒布品について加藤委員(MD334)に説明を求めた。
 - 加藤委員(MD334)はYCE派遣生ブレザーの注文は地区キャビネットで取りまとめをして取扱業者に注文する必要があると説明し、山本委員長は加藤委員に今年度の注文用紙を作成し、地区で取りまとめて注文するように指示をした。
 - 加藤委員はグローリーシバタ製頒布品の価格について確認するとした。
 - 加藤委員はチヂキ社製YCE交換ピン・スティックについて今年度、発注して次年度用に準備しておくべきかどうかを確認したいとし、山本委員長は各MDにチヂキ社製YCE交換ピン・スティックの在庫を確認するよう指示した。

(5) アプリケーションフォームについて

- 加藤委員(MD334)は10月開催ヨーロッパYCE委員長会議で検討予定のアプリケーションフォーム改訂について説明した。

(6) その他

- 2022年春期・夏期交換中止は11月10日開催予定の一般社団法人日本ライオンズ執行理事会にて承認の後、正式に文書にて発表する。それ以前は日本ライオンズYCE委員会の方向性として各準地区に伝えることとし、通信窓口国への伝達も同様とする。

次回委員会：

◇ 日時：2021年11月9日（火）13時30分～16時

場所：一般社団法人 日本ライオンズ事務所（集合）

2021年10月4日

議事要録作成人：

YCE委員(MD334) 加藤 万寿夫

YCE委員(MD335) 吉川 二郎

2021～2022 年度
一般社団法人日本ライオンズ
第 1 回アラート全体会議 議事録

日 時：2021 年 9 月 24 日（金）14:30～16:30

形 式：WEB プラットフォーム Zoom

出 欠

[一般社団法人日本ライオンズ]		
理事長（334 複合地区元議長 334-E 地区 長野みすず LC）	仁科 良三	○
副理事長（333 複合地区議長） アラート委員会委員長	山川 洋	○
333 複合地区アラート委員（333-E 地区 牛久茎崎 LC）		
専務理事（330 複合地区議長 330-A 地区 東京数寄屋橋 LC）	村木 秀之	○
[各複合地区委員]		
330 複合地区アラート委員（330-C 地区 坂戸 LC）	森川 明治郎	○
331 複合地区アラート委員（331-A 地区 札幌トラスト LC）	能澤 正明	○
332 複合地区アラート委員（332-C 地区 仙台高砂 LC）	木川田 明弘	○
334 複合地区アラート委員（334-D 地区 金沢城北 LC）	荒尾 勝彦	欠
335 複合地区アラート委員（335-B 地区 吹田江坂 LC）	佐々木 健太	○
336 複合地区アラート委員（336-A 地区 松山湯築 LC）	高岡 英治	○
337 複合地区アラート委員（337-C 地区 武雄 LC）	石永 扶佐夫	○
[アラートチーム]		
アドバイザー（335-B 地区 高槻 LC）	柿原 勝彦	○
東日本統括リーダー（332-D 地区 郡山東 LC）	橋本 修一	○
西日本統括リーダー（335-B 地区 松原 LC）	坂本 恵市	○
[各複合地区アラート班長・副班長]		
330 複合地区班長（330-A 地区 五反田 LC）	野村 起成	○
331 複合地区班長（331-B 地区 北見中央 LC）	浅野 敬一	○
332 複合地区班長（332-E 地区 山形アルカディア LC）	山下 里美	○
332 複合地区副班長（332-A 地区 青森 ZERO LC）	木村 知紀	欠
332 複合地区副班長（332-B 地区 水沢中央 LC）	及川 三美	○
332 複合地区副班長（332-C 地区 仙台高砂 LC）	鈴木 二三子	○代理
332 複合地区副班長（332-D 地区 田村 LC）	箱崎 哲司	○
332 複合地区副班長（332-E 地区 米沢松川 LC）	伊藤 剛	○
332 複合地区副班長（332-F 地区 中仙 LC）	草薙 孝悦	欠
333 複合地区班長（333-E 地区 水戸葵 LC）	若林 純也	○
334 複合地区班長（334-D 地区 鯖江王山 LC）	西村 和之	○
335 複合地区班長（335-A 地区 明石魚住 LC）	藤之原 美津子	○
336 複合地区班長（336-B 地区 岡山みらい LC）	藤井 信英	○
337 複合地区班長（337-D 地区 鹿児島島谷山 LC）	青木 和彦	欠
[一般社団法人日本ライオンズ 事務局]		
事務総長（330 複合地区元議長 330-A 地区 東京堀留 LC）	菅原 雅雄	○

1. 開会挨拶

アラートチーム西日本統括リーダー

L 坂本 恵市

一般社団法人日本ライオンズが発足し、また、アラート委員会が設置され既に2年と数カ月が経過する間にも各地で大災害が発生しているが、当アラート委員会の機能は発揮出来ていない。一般社団法人日本ライオンズ自体の問題であるとも言えるが、各複合地区や準地区との関係において組織や制度的にもまだまだ不明確であり、相互の信頼関係も構築出来ていないことが根底にあるのではないかと感じる。

また、プロトコルの問題については、当委員会発足当初から要望をしていたが、2年間務められた識名理事長も解決出来ないまま退任をされた。これに関しては遺憾に思う。

問題は山積であるが皆様の力で実のある会議としていただきたい。

2. 出席者確認と議事録作成人・署名人の確認

司会：MD333 アラート班長

L 若林 純也

- ・ 出欠確認が行われた。
- ・ 議事録作成人は336 複合地区高岡委員であることが確認された。
- ・ 議事録署名人は山川委員長であることが確認された。

※前回会議の議事録がMD337 より未提出である旨確認がされ、会議後速やかに提出をするようにとの話があった。

3. 理事長挨拶

一般社団法人日本ライオンズ理事長

L 仁科 良三

コロナ禍、社会の在り方が大きく変わろうとしているが、その一方で気候変動による災害への対応をも余儀なくされる世の中である。

アラート委員会は日本ライオンズで設置されている8つの委員会の1つである。先日、アラート委員会を開催したが、本日の全体会議は各複合地区から選任されたアラート委員、班長・副班長、アドバイザーによって構成されている。

国が指定する激甚災害時、また、県や複合を跨ぐ災害発生時には特に当アラート委員会の活動が必要となるので横の繋がりと絆を築き、迅速に動ける体制づくりをしていただきたい。

今年度は山川委員長を中心に闊達な意見を出し合いたい。

4. 専務理事挨拶

一般社団法人日本ライオンズ専務理事

L 村木 秀之

アラート委員会メンバー全員がコミュニケーションをしっかりと図ることが大切であると感じる。委員会には出来るだけ出席したいと思うのでよろしくお願いしたい。

5. 委員長挨拶

一般社団法人日本ライオンズアラート委員会委員長

L 山川 洋

アラート委員会メンバー皆様の長年のご苦勞をお察しする。村木専務理事のお話の通り、コミュニケーションを図り、情報を共有化し迅速な行動につなげることが最も大切である。プロトコルについても問題点を共有している。今年度中には複合地区、準地区内においても、例えば社会福祉協議会との協定に際して等、様々な場面で発言が可能となる位置付けになるよう立場を確立したい。

災害発生時、まず中心となるのは被災地域のライオンズクラブ単体であるが、地域の要望をいち早くキャッチし、複合地区、日本ライオンズが加わり可能な活動を行えるよう準備を充実させたい。

今後日本ライオンズアラート委員会のあり方について皆様とバランスをとりながら議論を深めかたちにしたい。

6. アドバイザー挨拶

アラート委員会（アラートチーム）アドバイザー

L 柿原 勝彦

4 年前にガバナーとして日本ライオンズへ出向している時であったが、当時の国際会長ナレシュ・アガワル氏はしきりに「“We”の力」と言っていた。
災害が多発している中でライオンズクラブとしての役割を考え、アラート委員会設置を提案した。シカゴ国際大会後に開催された理事会に出席した足で、当時の藤川議長、識名議長、本日出席をしている坂本統括リーダーと共に倉敷市真備町大水害被災地の視察を行い、社会福祉協会が開設するボランティアセンターとの関わり方等、色々提案をさせていただいた。
今回の会議名簿からも見えるように、今期初めて委員に着任する方が 5 名、留任の方が 3 名、実動部隊となる班長においては 5 名が留任、3 人が新人となっている。新たに着任された方には当委員会の重要性を十分に理解していただき活動をしていただきたい。
ライオンズクラブの基本理念は、1 人では出来ないことを「“We”の力」をもって世の為人の為に尽くすというもの。多発する自然災害やウイルス感染拡大においても自分だけが立ち振る舞うべきではなく、被災者皆様の心に響く人間味溢れる支援活動を行うことが我々の使命ではないかと思う。日本ライオンズアラート委員会は発足したばかりではあるが、一昨年よりの課題でもある緊急支援、復興支援についても山川委員長の下、行動力、決断力、組織力をもってお互いに英知を絞って取り組んでいただきたい。
皆様のなお一層のご理解とご協力をアドバイザーとしてお願いしたい。

7. 審議および報告

① 災害支援運営規則（案）並びに全日本アラート体制組織図の確認…………… L 山川 洋

※一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会 緊急アラート災害支援運営規則（案）（資料 4）
※全日本アラート体制組織図入力フォーム（資料 3）

山川委員長より、運営規則について一部改正が必要との話があった。

第 1 章 第 14 条【班長・副班長】副班長の任命について P3
2.（副班長）

[現行]

“担当エリア統括リーダーと相談をして指名推薦し、社団の理事長が任命する。”

⇒

[改正案]

“複合地区班長と委員長が相談をして、委員長が任命する”

各準地区より複数人任命されることも可能とする。

“（班長選出の準地区は除く）”の部分は削除。班長は複合地区より 1 名任命。

改正原案をまず委員会で確認し、次回社員総会で議案として提出、その後内容変更を行う。

【被災地域での心得】（資料 1）

山川委員長より資料に基づき説明があった。

MD335 藤之原班長より、3. の内容に付随して下記内容の追記案があった。

「被災地域での写真撮影については、被災された方々の生活や心情に十分配慮すること」

承 認

② 日本ライオンズアラート活動の現在までの組織について…………… L 森川 明治郎

【アラート組織図の構築に関して】

現在、全日本アラート体制組織図（資料 3）はまだ空欄の状態であり、仁科理事長の下、山川委員長より各議長へ要請をしていただき、準地区皆様の協力を得て早急に人選を行っていただきたい。また、次年度はスタート時点でこの組織図が完成している状態をお願いしたい。期の途中であっても皆様からの意見を聞きながら随時変更を行って参りたい。

【アラート委員会の立ち位置と日本ライオンズ組織の改善点に関して】

現在の日本ライオンズにおける立ち位置はアラート委員会に限ったことではなく、仁科理事長や村木専務理事についてもプロトコル上立ち位置はない。

国際協会的には、現実問題 GAT 日本エリア統括リーダーの L 中村泰久の下、GMT、GLT、GST、SCP・FWT エリアリーダー、また各コーディネーターが任命されている構図である。国際協会からの様々な運営方針については複合地区、準地区、クラブへこちらを通じて伝えてくるという現状の中で、日本ライオンズ自体はそのルートに乗っていない。その為、“正式なもの”という認識がない。すなわち、これが障害となっている。これについての解決策を見出す為、前期にローカルプロトコルを設けてもらえないかと提案をしたが、採択には至らなかった経緯がある。

この大きな目標については仁科理事長の指導力をもってぜひとも皆様の知恵で皆様自身の立ち位置を明確にしていきたい。また、立ち位置を明確にする上で非常に問題となってくるのが災害発生時、我々一般社団法人日本ライオンズとしての考え方と各地区ガバナーがそれを受け入れるかどうかという軋轢がここ数年多岐に渡って認められる。これについては特に班長の皆様は大いに実感しているのではないかと察する。この問題は本質的にはガバナーの皆様、そして地区の皆様が日本ライオンズに嫌悪感を抱いていることが大きい。

日本ライオンズが今まで構築してきた組織の在り方に異論がある。また、現在の運営体制に対する批判的な意見が大いにあるということで、我々日本ライオンズに参画するものとしては、改善すべき点が多々あるのではと強く感じる。この点をぜひ仁科理事長を筆頭に現執行部においては透明性を確立し、参加意識が持てる日本ライオンズに変えていく努力をお願いしたい。この件については、参加しているアドバイザー、統括リーダー、班長、皆様の思いもダイレクトに伝えていきたい。

変化を遂げることが出来なければ、日本のライオンズとしてこの組織を有効に活用することは不可能である。日本ライオンズ自体が変化を遂げなければ危機的な局面に立つ可能性があるということを確認していただき、委員会や執行部の運営をお願いしたい。組織の構築については、ガバナー皆様が日本ライオンズに参画している意識を強めていただけるような運営を再度お願いしたい。

山川委員長より下記話があった。

英知を以って改めるべき部分はしっかりと改善をする必要がある。また、ライオンズクラブの認知度も薄れつつある為、更なる PR 活動が必要である。改善すべき点の一つとして冒頭の話でもあった議事録の提出が非常に遅いことについても、即対応すべきである。デジタルで速やかに承認署名を付し、郵送ではなく、メールでやりとりを行う時代である。

③ 今後の課題と活動指針、社会福祉協議会との協定等……………L 森川 明治郎

※自然災害発生時における災害ボランティア支援に関する協定書（資料 5）

各都道府県、各市町村レベルで社会福祉協議会と協定を締結していただいている地区が多いと思うが完全ではない。委員長、班長を通じて協定の輪を広げる為の要請をお願いする。極力協定を締結していただけるよう都道府県レベルの社会福祉協議会から各地域の社会福祉協議会へ連絡を入れてもらっている。

次回までに各地区どのような状況であるか、進んでいない地区については何が障害であるかも含めて、各複合地区、各準地区の委員長、班長、統括リーダーを含めて検証を山川委員長へお願いしたい。なおかつ、協定締結後も“顔の見える関係”を構築出来るよう定期的に連絡を取り合って準備を進めていただきたい。

この点については、現在 MD337 の L 石永が現地で支援活動を続けており、実体験をもとにお話をうかがいたいと思う。

L 石永による現地報告

8 月佐賀豪雨災害発災前から県社協との災害協定を進め、9 月初旬に締結予定であったが直後に大水害が発生した為社協側が対応に追われ延期となっていた。現在は、むしろ社協側から協定締結の申し出がある状況である。

一般社団法人日本ライオンズと全国社会福祉協議会で締結された「自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定書」、また、前年度に前ガバナーと委員長が長崎県と締結した協定書の内容が細かいので、実際に社協の中でライオンズクラブでどこまで活動が可能であるか社協担当者と協議を行い検証を行った。

社会福祉協議会からの回答⇒

細かい内容を記載する必要はなく、まず協定を締結し災害の種類や規模に応じてその都度話し

合いを行えばよい。

坂本西日本統括リーダーより下記話があった。

一般社団法人日本ライオンズと全国社会福祉協議会との協定締結はとくに終わっており、その連絡が各都道府県および各市町村の社協に入っている。社協側から締結のオファーがあるというこのタイミングを有効に利用し、全国の社協と協定締結を実現するべく体制をとりたい。

各複合地区、準地区の締結進行状況について都道府県レベル、市町村レベルでの調査を行っていただきたい。

⇒山川委員長より、調査報告を2週間以内に行うよう話があった。

MD332 山下班長より下記話があった。

協定締結については各地区ガバナーによって温度差がある。啓発する為に地区内の委員会等にも出席しているがなかなか進まない。ゾーンチェアパーソン等と連携がとれない状態では市町村レベルでの協定は難しい。積極的な話をする為に、複合レベルのこの会議だけではなく、キャビネット会議等にも出席出来るような立場を構築していただきたい。

⇒山川委員長より、その通りであり、ぜひ広げていきたいとの話があった。

MD330 野村班長より下記話があった。

日本ライオンズの運営側から明確な指示がないまま約3年半が経つので、また進展のない会議になるのではと懸念する。ガバナーに対して班長の話を聞くようにとの指示もされない。また、アラートは多くの仲間を募って情報共有出来なければ活動はなしえない。発災時に班長のサポート役となる副班長の配置なくしてスムーズな活動は行えない。理事長が交代してもリーダーシップのないリーダーの場合日本ライオンズ自体は何も変わらないのではないかと。今後、複合地区や準地区ガバナーに我々の考えを理解していただけるような立場に置いていただきたい。

⇒山川委員長より、リーダーシップを発揮し組織を活性化させたいとの話があった。

柿原アドバイザーより下記話があった。

「自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定書」(資料5)

P12 自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定書に係る連絡担当者

毎年、社会福祉協議会とは担当者の情報について連絡し合うことを約束しているが、この資料は昨年度の情報のままなので、更新をして社協に連絡をする必要がある。

- ・第1連絡先：森川委員長⇒山川委員長へ変更
- ・第2連絡先：坂本西日本統括リーダー（※昨年に引き続き）

また、各準地区、各クラブにおいても地域の社会福祉協議会との協定を締結していると思うが、同様に双方の連絡担当者の情報を確認しあい、少なくとも年に2回は社協、行政、ライオン3者にて地域における防災に関する会議等を開催し関係を密にしていきたい。

⇒山川委員長より、あらためて社協へ提出をするとの話があった。

石永委員より、進行中の案件については後日まとまり次第報告するとの話があった。

※MD337 石永委員はボランティアセンターとの打ち合わせの為、ご退席

MD332 木川田委員より下記話があった。

9/10のアラート委員会の内容について聞き逃しがあった為、Zoomのレコーディングを日本ライオンズへ依頼したが、いただくことが出来なかった。いつ何時誰でも視聴出来るようにしていただきたい。

⇒山川委員長より、透明性確立の為にも今後一切のレコーディングを公開するとの話があった。

④ 2021-2022 年度全国アラートフォーラム開催について…………… L 橋本 修一

東西交互に年1回開催することで決まっており、前回 MD337 福岡での開催に引き続き、今回は MD332 が担当となり、打ち合わせを進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大を鑑み、来年あらためて話をすすめることで決定した。

⇒山川委員長より、感染防止対策を第一に、収束を見届けてからの開催としたいとの話があった。

※司会若林班長より会議を16:30まで延長するとの話があった。

8. アラート委員報告 現状報告と年間活動目標と計画

MD330 L 森川

第1回委員会を開催し、第2回会議までに連絡網のたたき台を作成、班長と副班長の選出も正式に行われると考える。また、各地域の社会福祉協議会との協定締結についても進めていただく話を行った。緊急事態宣言解除後にあらためて、発災時即対応可能な体制づくりを構築する為の話をすすめる。

MD331 L 能澤

ガバナー協議会と並行してアラート委員会を開催し、各準地区アラート委員に副班長を兼任していただき、班長を交えて綿密な打ち合わせを行う。そして、ガバナー協議会で今年度の活動方針を発表する。協定締結に関しては北海道とは締結済であるが、クラブ解散等を含め、ライオンズクラブのない市町村から協定締結について問い合わせが入っている為検討が必要。また、各アラート委員会は1年ごとに委員長が変わり、委員の再任もある場合とない場合がある。班長に関しては大半が再任となっている。班長を任命される際に任期は3年が望ましいとの話があった。地域社会に対して責任を果たす上で、事業に対する継続性と組織に対する申し送りを明確にする為に協定書は非常に責任ある文書となるので、地域の市町村長に理解していただくためにも「ライオンズクラブは毎年役員が変わる」旨文言の記載を検討していただきたい。

MD332 L 木川田

9/10の第1回アラート委員会の際に、班長と副班長を選出してもらいたいとの通達があったので即対応して本日の会議に出席している通りである。2019-2020 ガバナーであった際に災害支援活動を行ったが、その際に LCIF 交付金で集会場を建てる事が出来た。これについて PR を行いたい。社協との締結については再度確認の上報告を行う。

MD334 L 西村（班長）※L 荒尾代理

前期は年に4回班長、委員長、各準地区のアラート委員長を交えて会議を行った。今期は10月に予定をしている。D地区（福井・石川・富山）各県に1棟ずつ備蓄倉庫を配置する場所が決定したので、今期後半に倉庫内に資材を入れる段取りを行っている。これに関して、社協が所有している資材とダブらないよう3県の社協に依頼をし、各市町村の在庫状況を聞き、そのリストをいただいた。10/18に3県の社協担当者とガバナー、第一・第二副地区ガバナーとで会議を行う予定。この資材リストについても何かの機会に日本アラート委員会に提示出来ればと思う。

MD335 L 佐々木

昨年からは準地区に依頼をしていることは、緊急支援の体制をどう構築するか。335-B地区では、地区内で災害が起きた場合、災害対策委員会が設置される（本部長／地区ガバナー、副本部長／第一・第二副地区ガバナー、本部長補佐／キャビネット幹事・会計、委員／アラート委員長、その下にRC・ZCが配置）されるが、緊急支援を行う場合は、何も発動する組織ではないということなので、災害が起きた場合、対策本部をこの上に設置しては、という提案をしている。この災害対策本部において災害レベルの判定をして、支援内容を決める。

議長各位で連絡網を作っていたいて、支援・受援いかなる場合も対策本部を設置したい。どのような支援を行うべきか、複合・準地区で考える委員会組織を作ってはと提案している。その委員会の中に日本ライオンズアラート委員会班長・副班長を入れてもらえないか。335-Bでそのひな型を作成中である。

国際協会と一般社団法人日本ライオンズが災害時には連携して支援も受援も行えればと思う。

335-Bの第二副地区ガバナーと話を進めている。

各地区から副班長の選出をすることになっている、できれば複合事務局宛に副班長選出の依頼文書を送っていただき、そこに選出のルールを記載していただきたい。

私見であるが、出来れば日本レベルのアラート委員は準地区で1年間アラート委員長をやって、副班長として活動され、その副班長が準地区の委員長と連携して活動をしていく。335-B地区では災害対策本部の中に一般社団法人日本ライオンズの役員も入れて組織図を作成中である。

また、次の会議までに各複合単位で対策についての案や、委員会のあり方について等、意見を募ってそれを基に模索してはどうかと提案したい。

⇒山川委員長より素晴らしい案であるので、次回委員会までに提出していただき、様々な観点から議論したいとの話があった。

※第 2 回会議までに意見書を準備することで決定。

※MD330 森川委員は所用の為、ご退席

MD336 L 高岡

緊急アラート災害支援運営規則（案）の第 14 条 2.(副班長)について、副班長はガバナー協議会で決めることとする。MD336 議長より、条項に記載されている“原則”のとおり行うようにと指示があった。委員と班長のみで任命することは出来かねる。

なお、県社協との協定締結については、各地区全県ともに完了している。

336-A 地区香川県で、10/18 に「第 1 回アラート組織設立研究会」と題して、RC・ZC がハイブリッド形式にて全員参加の上会合が開催され、日本レベル、複合レベルでのアラート委員会組織がどの様なものであるか、役職の役割や規約を含め皆様へ説明を行った。香川県については、日本赤十字、青年会議所とも連携をしており、今期はこの研究会を 4 回開催する予定である。

また、支援体制を樹立させる為にはまず原資が必要となる。四国の場合 9 リジョンあり、リジョンの中には既にクラブから支援金を集める体制が出来ている地区もある。リジョンで 100 万円弱を集め発災時何かの為に利用する。

複合地区では今期、災害対策本部を設置し、近日予想される台風にも備える為まだ解散には至っていない。災害発生時には複合地区から班長と副班長がまず実動し、情報を複合事務局にて集約する。特に今年は甚大な被害を受けた西日本（MD335.336.337）での協議を重ね、協力体制を構築したい。併せてクラブやキャビネットにおける受援体制についても今期確立させる。

MD333 山川委員長

緊急援助資金委員会の構成員について、委員長は議長、委員は現ガバナーとなっているが、これについてあらためて皆様の意見を聞きたいが、本日は時間の都合上、その他も含めて次回とさせていただきます。

司会若林班長より、組織に関する懸念部分についても意見書にて次回会議までに提出いただきたいとの話があった。

9. 意見交換 プロトコールの問題等

山川委員長より、仁科理事長としっかり打合せを行い、なんとか今期中に着地したいとの話があった。

司会若林班長より、下記について仁科理事長と山川委員長に精査していただき、アラートチームがいざという場面で活躍出来るよう皆様に問題点を解決したいとの話があった。

1. アラート委員長とアラート班長の区別
2. アラート班長のプロトコール上の立ち位置
3. 一般社団法人日本ライオンズと国際協会との連携

坂本西日本統括リーダーより、下記話があった。

プロトコールは、ローカルルールではなく、8 複合地区統一された内容でないと意味がない。

班長から、キャビネット会議にもガバナー協議会にも出席出来ず、肝心の発災時に意思の疎通が図れないとの報告がある。

司会若林班長より、“班長はオブザーバーであるので発言不可”と言われた方もいる、との話があった。

山川委員長より、次回第 2 回の開催日程について話があった。

仁科理事長より、今後の理事会スケジュール概要について下記話があった。

今期第 2 回理事会は 11 月 25 日（木）REAL 形式で開催予定。

この日までに第 2 回アラート全体会議を開催するとなると、山川委員長には本日の会議と合わせて 2 回分の会議報告を執行理事会を経て理事会にて行っていただく流れとなる。

坂本西日本統括リーダーより、10 月 29 日（金）石巻市で開催される地区アラートフォーラムに招聘されている為、前後の日程は避けていただきたいとの話があった。

※次回第2回アラート全体会議は、**10月27日（水）14：00～16：00 WEB**にて開催決定。

山川委員長より、下記次回までの課題について委員会開催前に再度確認があった。

1. 各準地区、複合地区における社会福祉協議会との協定締結状況についての調査
※提出締切日：10月8日（金）
2. 意見書
※次回委員会開催までに提出、事前に目を通していただき、10/27に議論を行う。

MD335 藤之原班長より、下記質問があった。

日本ライオンズアラート委員会の支援金残高について、班長には情報が何も入っていないがどのような状況であるか資料を閲覧することは可能か。

⇒山川委員長より、現在9/10に開催された第1回アラート委員会議事録（作成人：MD337 石永委員）を待っている状況、提出があり次第お送りするとの回答があった。

MD336 高岡委員より、本日の会議レコーディングをMD336事務局へ送っていただきたいと依頼があった。

⇒菅原事務総長より、必ずお送りするとの回答があった。

MD332 木川田委員より、議事録を作成する方だけにお送りするのではなく、希望者全員に配信するようにとの話があった。

⇒菅原事務総長より、お送りするとの回答があった。

10. 総 評

一般社団法人日本ライオンズ理事長

L 仁科 良三

各地区議長にも承認をいただいているが、来月から全国を回り35名のガバナーと会う。内容については想像にお任せするが、今行動を起こすべくタイミングであると思っている。

災害に携わることは専門職の域であり、この観点からみると未経験者が活動を行うことは難度の高い事であるため、班長を配置している。この部分を地区でうまく融合してコンセンサスを得ながらやっていくことが重要である。

一般社団法人日本ライオンズについては、フリーハンドとはいかないが、今後手作りで改善していこうと思っているのでご理解とご協力をお願いしたい。

11. 閉会挨拶

西日本統括リーダー

L 坂本 恵市

※東日本統括リーダーL 橋本 修一、音声不具合の為挨拶はL 坂本へ急遽変更。

様々な問題に対して前向きに考えていただけるということを確認出来る会議であった。

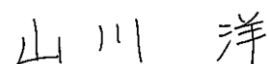
今まで活動し辛かったアラート委員会であるが、リーダーシップでもって、また、我々班長、委員の方々一丸となって盛り上げていきたいと思うので今後ともよろしく願いしたい。

ありがとうございました。

議事録作成人 336 複合地区アラート委員 高岡 英治



議事録署名人 一般社団法人日本ライオンズ アラート委員会委員長 山川 洋



承認年月日 2021年9月29日

2021-2022年度331複合地区
第1回ガバナー協議会 次第

2021年10月12日(火) 京王プラザホテル札幌

ガバナー協議会事前会議 (13:00-14:20)

ガバナー協議会全体会議 (14:30-17:00)

司会 運営委員長 L 中野 正敬

開会宣言

議長 L 鶴嶋 浩二

出席者紹介

運営事務局長 L 小玉 享幸

議長挨拶

議長 L 鶴嶋 浩二

一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶

理事長 L 仁科 良三

一般社団法人日本ライオンズ専務理事ご挨拶

専務理事 L 村木 秀之

報告事項

〔国際協会 日本レベル〕

頁

1. 一般社団法人日本ライオンズ報告	議長 L 鶴嶋 浩二	1-24
2. ライオン誌日本語版委員会報告	委員 L 吉原 成昌	25-32
3. LCIFキャンペーン副エリアリーダー報告	副エリアリーダー L 小野寺 眞悟	33-35
4. LCIFコーディネーター会議報告	LCIF委員会委員長 L 及川 隆人	
5. GLTコーディネーター会議報告	コーディネーター L 若林 輝彦	36-39
6. GMTコーディネーター会議報告	コーディネーター L 諏訪 昇三	
7. GSTコーディネーター会議報告	コーディネーター L 松浦 淳一	40-48
8. スペシャルディクラブ・FWTコーディネーター会議報告	コーディネーター L 設楽 幸子	49-56
9. 会則委員会報告	委員 L 奥山 幸一	
10. YCE委員会報告	委員 L 大澤 勝雄	57-58
11. アラート委員会報告	委員 L 能澤 正明	59-66

〔331複合地区〕

1. GAT委員会報告	GMTコーディネーター L 諏訪 昇三	
2. アラート委員会報告	アラート委員長 L 能澤 正明	67-69
3. その他		

〔質疑応答〕

審議事項

1. 2020-2021年度複合地区決算報告	(説明) 前会計 L 諏訪 昇三	71-75
2. 2020-2021年度複合地区監査報告	前年度会計監査委員 L 中野 正敬	76
3. 2021-2022年度複合地区一般会計予算(案)について	(説明) 会計 L 須藤 敏幸	77
4. 2021-2022年度複合地区特別会計予算(案)について	〃 〃	78-79
5. 331複合地区取引銀行について	〃 〃	79
6. 331複合地区旅費・慶弔規定について	〃 〃	80-81

閉会宣言

議長 L 鶴嶋 浩二

2021-2022年度 331複合地区第1回ガバナー協議会出席者名簿

△:ウェブ出席

役 職			氏 名	クラブ名	地区	出席
ガバナー協議会顧問 元国際理事			安井 克之	旭川東	B	
ガバナー協議会顧問 元国際理事			杉本 忠夫	札幌ライラック	A	
ガバナー協議会	議長	331-A地区ガバナー	鶴嶋 浩二	札幌中島	A	○
	副議長・幹事	331-B地区ガバナー	高井 信夫	帯広	B	○
	副議長・会計	331-C地区ガバナー	須藤 敏幸	伊達	C	○
一般社団法人 日本ライオンズ	(社)日本ライオンズ 常務理事		鶴嶋 浩二	札幌中島	A	○
	(社)日本ライオンズ 理事		中谷 宣巨	釧路	B	○
	(社)日本ライオンズ 会計監査委員		小玉 誠	苫小牧白鳥	C	

GATコーディネーター

LCIFキャンペーン 副エリアリーダー	小野寺 眞悟	札幌北の杜	A	○
GMT(グローバル会員増強チーム)MDコーディネーター	諏訪 昇三	札幌時計台	A	○
GLT(グローバル指導力育成チーム)MDコーディネーター	若林 輝彦	美幌	B	○
GST(グローバルサービスチーム)MDコーディネーター	松浦 淳一	岩見沢はまなす	A	○
LCIF MDコーディネーター	鶴嶋 浩二	札幌中島	A	○
スペシャルクラブ・FWT(家族及び女性会員チーム)MDコーディネーター	設楽 幸子	札幌アカシヤ	A	○
スペシャルクラブ・FWT(家族及び女性会員チーム)副MDコーディネーター	小野内雅子	札幌東	A	○

一般社団法人 関係委員会

ライオン誌日本語版委員会 委員	吉原 成昌	苫小牧ハスカッ	C	○
国際理事候補者推薦選挙管理委員会 委員	荒井 喜和	札幌清田	A	○
会則委員会 委員	奥山 幸一	函館みなと	C	○
国際大会委員会 委員	鈴木 善一	千歳	A	○
YCE委員会 委員	大澤 勝雄	釧路めさまい	B	○
アラート委員会 委員	能澤 正明	札幌トラスト	A	○
アラート委員会 班長	浅野 敬一	北見中央	B	○

331複合地区 各委員会

会則委員会	委員長	奥山 幸一	函館みなと	C	○
国際大会委員会	委員長	鈴木 善一	千歳	A	○
プロトコール委員会	委員長	本所 光男	室蘭東	C	○
MC・情報テクノロジー委員会	委員長	浅野 剛	札幌東	A	○
	副委員長	牧野 修一	美唄	A	○
YCE委員会	委員長	大澤 勝雄	釧路めさまい	B	○
	副委員長	齊田 博文	札幌清田	A	○
	副委員長	小川 賢一	音更	B	△
	副委員長	末永 玲子	函館グリーン	C	

役 職		氏 名	クラブ名	地区	全体
ライオンズクエスト委員会		委員長 繁富 敬史	札幌中央	A	○
青少年育成委員会(薬物・レオ)		委員長 高橋好志子	帯広さくら	B	△
環境保全・献血・献眼委員会		委員長 米地 理	札幌中島	A	△
LCIF委員会	委員長	及川 隆人	苫小牧ハスカッ	C	○
	副委員長	美田 法賢	札幌パイオニア	A	○
	副委員長	小森 唯永	帯広かしわ	B	
次世代リーダーシップ研究会	委員長	長谷川亮平	札幌南	A	○
	副委員長	金子 益三	上富良野	B	○
	副委員長	片岡 雄也	伊達	C	△
アラート委員会	委員長	能澤 正明	札幌トラスト	A	○
	副委員長	浅野 敬一	北見中央	B	○
	委員	新屋 雅良	札幌中島	A	○
	委員	柳澤 豊	留萌みなと	B	○
	委員	新岡 尚	室蘭東	C	○
長期計画リサーチ委員会	委員長	佐々木忠康	小樽	C	○
	委員	松浦 淳一	岩見沢はまなす	A	○
	委員	阿部 昭	士別	B	○
	委員	馬場 哲也	函館東	C	○
	委員	設楽 幸子	札幌アカシヤ	A	○
	委員	藤原 回向	稚内北斗	B	○
	委員	渡部 義男	苫小牧中央	C	○
年次大会委員会	委員長	木戸 善幸	札幌東	A	○
	事務局長	小野 徹	札幌東	A	○
	委員	坂野 祐司	札幌中島	A	○
会計監査委員会	委員	窪田明規夫	旭川平和	B	○
	委員	小玉 誠	苫小牧白鳥	C	
ガバナー協議会事務局運営委員会	委員長	中野 正敬	札幌中島	A	○
	副委員長	金子 雅行	札幌中島	A	○
	副委員長	渡辺美智留	岩見沢はまなす	A	○
	副委員長	石邑 義幸	帯広	B	○
	副委員長	宮崎 泰人	伊達	C	
	事務局長	小玉 享幸	札幌中島	A	○

GAT委員会

役 職		氏 名	クラブ名	地区	全体
GLT委員会	委員長	若林 輝彦	美幌	B	○
	副委員長	西國 宏治	札幌清田	A	○
	副委員長	金子 益三	上富良野	B	○
	副委員長	山本 憲治	小樽みなと	C	○
GMT委員会	委員長	諏訪 昇三	札幌時計台	A	○
	副委員長	其田 勝則	砂川	A	○
	副委員長	田村 裕	留萌みなと	B	○
	副委員長	蒲原 章	白老	C	○
GST委員会	委員長	松浦 淳一	岩見沢はまなす	A	○
	副委員長	設楽 幸子	札幌アカシヤ	A	○
	副委員長	大島 尚久	釧路みなと	B	○
	副委員長	片岡 雄也	伊達	C	△
スペシャルティクラブ・FWT委員会	委員長	設楽 幸子	札幌アカシヤ	A	○
	副委員長	小野内雅子	札幌東	A	○
	副委員長	熊谷 敬子	札幌北の杜	A	○
	副委員長	高橋好志子	帯広さくら	B	△
	副委員長	荒川 祥子	倶知安	C	○

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
2020-2021年度

一般会計収支決算報告書

(自2020. 7. 1～至2021. 6. 30)

(単位:円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比	科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比
日本ライオンズ会費	5,293,440	5,300,640	△ 7,200	前年度繰越金	2,656,254	2,656,254	0
会 議 費	800,000	681,519	118,481	複 合 地 区 費	11,910,240	12,014,640	△ 104,400
旅 費・交 通 費	4,500,000	1,415,216	3,084,784	日本ライオンズ会費	5,293,440	5,300,640	△ 7,200
通 信 費	420,000	378,303	41,697	雑 収 入	100	54,429	△ 54,329
事 務 所 費	2,600,000	2,525,847	74,153				
消 耗 品 費	100,000	79,944	20,056				
交 際 費	50,000	0	50,000				
備 品 費	50,000	0	50,000				
印 刷 費	750,000	611,086	138,914				
人 件 費	3,900,000	3,814,740	85,260				
福 利 厚 生 費	500,000	443,433	56,567				
雑 費	200,000	182,993	17,007				
慶 弔 費	200,000	72,550	127,450				
国 際 関 係 費	200,000	0	200,000				
退 職 金 積 立	240,000	240,000	0				
予 備 費	56,594	121,000	△ 64,406				
剰 余 金		4,158,692	△ 4,158,692				
計	19,860,034	20,025,963	△ 165,929	計	19,860,034	20,025,963	△ 165,929

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
2020－2021年度
YCE特別会計収支決算報告書
(自2020. 7. 1～至2021. 6. 30)

支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比	科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比
派遣・受入関係	700,000	94,300	605,700	前年度繰越金	2,862,790	2,862,790	0
委員会関係	700,000	165,426	534,574	3地区負担金	450,000	450,000	0
事務・通信費	30,000	2,090	27,910	キャンプ負担金	0	0	0
キャンプ費用	0		0	雑 収 入	20,000	0	20,000
予 備 費	1,902,790		1,902,790				
剰 余 金		3,050,974	△ 3,050,974				
計	3,332,790	3,312,790	20,000	計	3,332,790	3,312,790	20,000

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
2020－2021年度
レオ特別会計収支決算報告書
(自2020. 7. 1～至2021. 6. 30)

支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比	科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比
レオ支援金	150,000	150,000	0	前年度繰越金	266,845	266,845	0
予 備 費	416,845	0	416,845	3地区負担金	300,000	300,000	0
剰 余 金		416,845					
計	566,845	566,845	0	計	566,845	566,845	0

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
2020-2021年度
緊急災害援助資金収支決算報告書
(自2020. 7. 1～至2021. 6. 30)

(単位:円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比	科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比
緊急援助資金	10,610,249	1,000,000	9,610,249	前年度繰越金	10,610,249	10,610,249	0
				クラブ拠出金	0	90,000	△ 90,000
剰 余 金		11,203,480	△ 11,203,480	胆振東部地震 義 援 金 振 替	0	1,503,231	
計	10,610,249	12,203,480	△ 1,593,231	計	10,610,249	12,203,480	△ 1,593,231

2021年2月 旭川市医療支援(331-B地区) 1,000,000円

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
2020-2021年度
第67回年次大会特別会計収支決算報告書
(自2020. 7. 1～至2021. 6. 30)

(単位:円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比	科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比
総務・登録部会	300,000	96,000	204,000	前年度繰越金	617,443	617,443	0
代議員・式典部 会	757,000	649,324	107,676	複合地区大会費	667,480	667,480	0
記念誌・記録部 会	500,000	333,520	166,480	大 会 登 録 料	750,000	762,000	△ 12,000
予 備 費	543,000	0	543,000	雑 収 入	65,077	7	65,070
剰 余 金		968,086	△ 968,086				
計	2,100,000	2,046,930	53,070	計	2,100,000	2,046,930	53,070

ライオンズクラブ国際協会331複合地区

一般会計・特別会計

貸借対照表

(2021年6月30日現在)

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	140,403	預り金	1,277,572
普通預金(北海道銀行)	8,203,659	未払金	
普通預金(緊急援助資金)	11,203,480	退職積立金	2,640,000
普通預金(年次大会)	968,086	一般会計剰余金	4,158,692
普通預金(退職積立金)	2,640,021	YCE特別会計剰余金	3,050,974
		レオ特別会計剰余金	416,845
		緊急災害援助資金	11,203,480
敷金	560,000	大会特別会計剰余金	968,086
合計	23,715,649	合計	23,715,649

その他

2021年6月30日

口座名	用途	
北海道地震災害対策委員会 会計 石岡 憲義	MCAT LCIF交付金	0
ライオンズクラブ国際協会331複合地区 ガバナー協議会 議長 中谷 宣巨	スペシャル オリンピックス	6,646,413
ライオンズクラブMD331ガバナー協議会 議長 渡辺 修	スペシャル オリンピックス LCIF交付金	20,497,948

(円)

ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区
2020-2021 年度会計監査報告書

私たちは、331 複合地区 2020-2021 年度会計期間にかかる会計監査
を行い、次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

会計帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、
財務諸表の正確性を検討した。

2. 監査意見

各会計の収支計算書及び貸借対照表は会計帳簿の記載金額と一致して
おり、収支及び財産の状況を示しているものと認めます。

以上

2021 年 10 月 1 日

ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区
2020-2021 年度

複合地区会計監査委員 小 玉 誠 

複合地区会計監査委員 中野 正敬 

ライオンズクラブ国際協会331複合地区

一般会計収支予算(案)

(自2021.7. 1～至2022. 6. 30)

(収 入 の 部)

(単位:円)

科 目	前年度決算額	今年度予算	摘 要
前 年 度 繰 越 金	2,656,254	4,158,692	
複 合 地 区 費	12,014,640	11,419,920	180円×12ヶ月×5,287名 (家族会員を除く)
日 本 ラ イ オ ン ズ 会 費	5,300,640	5,075,520	80円×12ヶ月×5,287名(家族会員を除く)
雑 収 入	54,429	100	利息
計	20,025,963	20,654,232	

(支 出 の 部)

科 目	前年度決算額	今年度予算	摘 要
日 本 ラ イ オ ン ズ 会 費	5,300,640	5,075,520	80円×12ヶ月×5,287名
会 議 費	681,519	1,100,000	ガバナー協議会(3回) 他、委員会・セミナー
旅 費 ・ 交 通 費	1,415,216	3,000,000	各種会議旅費 (MD331、日本ライオンズ)
通 信 費	378,303	420,000	
事 務 所 費	2,525,847	2,700,000	家賃、リース料、IT経費
消 耗 品 費	79,944	100,000	
交 際 費	0	50,000	
備 品 費	0	50,000	
印 刷 費	611,086	750,000	コピー代、要録(3回)、住所録
人 件 費	3,814,740	4,000,000	
福 利 厚 生 費	443,433	500,000	
雑 費	182,993	200,000	
慶 弔 費	72,550	400,000	地区内、他地区役員
国 際 関 係 費	0	500,000	国際役員公式訪問
退 職 金 積 立	240,000	240,000	
大 会 交 付 金			
予 備 費	121,000	1,568,712	
剰 余 金	4,158,692		
計	20,025,963	20,654,232	

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
YCE特別会計予算(案)
(自2021. 7. 1～至2022. 6. 30)

(収 入 の 部)

(単位:円)

科 目	前年度決算	今年度予算	摘 要
前 年 度 繰 越 金	2,862,790	3,050,974	
3 地 区 負 担 金	450,000	450,000	15万円×3地区
キ ャ ン プ 負 担 金		0	キャンプ中止
雑 収 入		20,000	
計	3,312,790	3,520,974	

(支 出 の 部)

科 目	前年度決算	今年度予算	摘 要
派 遣 ・ 受 入 関 係	94,300	700,000	オリエンテーション、頒布品、送迎費
委 員 会 関 係	165,426	700,000	会議費、交通費
事 務 ・ 通 信 費	2,090	30,000	
キ ャ ン プ 費 用		0	
予 備 費		2,090,974	
剰 余 金	3,050,974		
計	3,312,790	3,520,974	

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
レオ特別会計予算(案)
(自2021. 7. 1～至2022. 6. 30)

(収 入 の 部)

(単位:円)

科 目	前年度決算	今年度予算	摘 要
前 年 度 繰 越 金	266,845	416,845	
3 地 区 負 担 金	300,000	300,000	10万円×3地区
雑 収 入	0	0	
計	566,845	716,845	

(支 出 の 部)

科 目	前年度決算	今年度予算	摘 要
レ オ 支 援 金	150,000	150,000	
予 備 費		566,845	
剰 余 金	416,845		
計	566,845	716,845	

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
緊急援助資金会計予算(案)
(自2021. 7. 1～至2022. 6. 30)

(収 入 の 部)

(単位:円)

科 目	今年度予算	摘 要
前 年 度 繰 越 金	11,203,480	
協 力 金	0	
計	11,203,480	

(支 出 の 部)

科 目	今年度予算	摘 要
緊 急 災 害 援 助 資 金	11,203,480	
計	11,203,480	

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
第68回年次大会特別会計予算(案)
(自2021. 7. 1～至2022. 6. 30)

(収 入 の 部)

(単位:円)

科 目	今年度予算	摘 要
前 年 度 繰 越 金	968,086	
複 合 地 区 大 会 費	634,440	10円×12ヶ月×5,287名
計	1,602,526	

(支 出 の 部)

科 目	今年度予算	摘 要
第 6 8 回 年 次 大 会 費	1,602,526	
計	1,602,526	

取引銀行について(2021.7.1～2022.6.30)

銀 行 名	北海道銀行 札幌駅北口支店
口 座 番 号	普通預金 0925665
口 座 名	ライオンズクラブ国際協会331複合地区ガバナー協議会 議 長 鶴 嶋 浩 二 (つるしま こうじ)

2021-2022 年度 331複合地区旅費規定（案）

331 複合地区ガバナー協議会構成員および各委員会委員の旅費規定は次の通り定める。

第1条 331 複合地区レベルで開催されるガバナー協議会および各委員会、その他議長の命により出張した場合を支給対象とする。

第2条 一般社団法人日本ライオンズの①理事会、②各委員会への出席は、法人の旅費規定により支給されるため、直接複合地区からは支給しない。

第3条 複合地区内の会議出席の場合は、原則として宿泊費は支給しない。

第4条 旅費支給はガバナー協議会宛てに1年度分をまとめて請求し、指定口座に送金するものとする。

第5条 職員が議長の命および必要に応じ出張した場合の旅費はこの限りではない。

別 表

交通費	宿泊費補助
道 外（航空機・新幹線） 実費 ただし 上限30,000円	※午後11時までに自宅最寄り空港または鉄道駅に帰着出来ない場合 道 外 上限15,000円
道 内（鉄道運賃） 普通車座席指定特急料金の半額	道 内 支給しない

第6条 ガバナー協議会議長活動費として、国際大会、東洋東南アジアフォーラム、国際会長公式訪問などに関わる旅費を一部補助する。ただし、総額30万円を上限とする。

第7条 本規定に定めない事項については、その都度ガバナー協議会構成員が協議の上決定する。

第8条 この規定は、2021年7月1日より適用する。

2021-2022 年度 331複合地区慶弔規定 (案)

331 複合地区ガバナー協議会の慶弔規定は次の通り定める。

第1条 構成員および役員が結婚の場合、御祝儀20,000円を贈る。

第2条 構成員、役員および親族が死亡した場合

構成員および役員本人 20,000円と供花、弔電

構成員および役員の配偶者 20,000円と供花、弔電

構成員および役員の一親等 10,000円と弔電

第3条 複合地区内の元地区ガバナーが死亡した場合

20,000円と供花、弔電

第4条 構成員および役員が傷病により入院又は自宅加療の期間が2週間を超える場合

お見舞金 10,000円を贈る

第5条 構成員および役員が火災、風水害、地震等の災害にあった場合

被害程度に応じお見舞金を贈る

第6条 この規定に定めのない事項についてはその都度協議の上決定する。

第7条 この規定は、2021年7月1日より適用する。



2021 年 6 月国際理事会および第 103 回バーチャル国際大会報告

2021 年 6 月 13-16 日に開催されたアトランタ国際理事会（バーチャル参加とのハイブリッド）での決議事項および第 103 回バーチャル国際大会とその後の国際大会での決定事項ほか報告事項をお知らせいたします。なお、理事会決議内容については正式な日本語訳が確定していない内容もあります。正しくは追って配信される決議要約および改訂される理事会方針書（国際協会ウェブサイトに掲載されるもの）によりご確認ください。地区・クラブほか日本でのライオンズクラブ活動に影響がある部分を中心に要点のみご報告いたしますので、本報告内容についてご質問がありましたらお知らせください。

アトランタ理事会決議事項・審議事項

- 台湾における地区再編成に関連し、300-C5 地区の名称を 300-C3 とする要望案について検討。2023 年国際大会閉会時に成立するこの地区再編成が完了した後に審議することとする。（地区およびクラブサービス委員会）
- 再編成以降の複合地区 300 台湾の表記について決議を可決。
- 2022 年 FVDG/DGE セミナーのグループリーダーとそのカリキュラムを承認。日本語グループは濱野雅司（MD330）PDG がグループリーダーに任命された。（リーダーシップ開発委員会）
- LCIP（ライオンズ公認講師プログラム）の認定と再認定期間についてより明確に規定するため理事会方針書第 14 章 F5 の内容の改訂を決議。（リーダーシップ開発委員会）
- 会則関連講義申し立て手順の手数料を 250 ドルから 1,000 ドルに引き上げ、和解・取り下げの場合の国際協会留保分を 500 ドルに引き上げる決議を可決。（会則付則委員会）
- 元地区ガバナーが選挙で代議員の立場を付与されるには、正会員もしくは会則上地区大会で投票権がある会員種別に属していることが条件であることを確認し、これを理事会方針書の会則解釈に加えることを決定。（会則付則委員会）
- ライオネスプログラムは 2021 年 6 月 30 日をもって終了し、これを反映させるように理事会方針書を改定することを確認。（会員増強委員会）
- クラブのマーケティング活動とブランド認知度向上のための取り組みを支援し、評価する目的で、「ライオンズ国際マーケティング賞」を創設する方向で議論を継続中。（マーケティング・コミュニケーション委員会）
- ライオンズ国際戦略計画の概要を承認し採用することを決議。（長期計画委員会）
- 理事会方針書第 1 章 A3 の使命声明文を以下のとおり改訂。
「3.使命声明文。ライオンズクラブ、ボランティア、パートナーに力を与えることにより、健康と福祉を改善し、地域社会を強化し、世界中の人々の暮らしに影響を及ぼす人道奉仕と交付金を通じて恵まれない人々に支援を提供し、平和と国際理解を促進する。」（長期計画委員会）

■新任理事オリエンテーションおよび FVDG/DGE セミナーにおいて、デジタルプロダクトに関する研修を追加することを推奨。(テクノロジー委員会)

■2022 年インド・ニューデリー国際大会は延期とし、同都市ホスト委員会と国際協会が合意する早い将来の年に実施することで合意した。2022 年国際大会は、カナダ・モントリオールで開催することを決定。(大会委員会)

国際大会会則改正案—すべて可決

可決した会則改正の内容は以下の通り。

■国際理事候補者推薦証明書が国際本部に届いていなければならない期限を、国際大会の開会日の 60 日前までに変更することを可決。これにより、

2022 年 7 月 1 日を発効日として、国際付則第 2 条第 4 項 (a) を、その 2 文目にある「30 日」との語句を削除して「60 日」との語句に差し替えることにより改正する。

2022 年 7 月 1 日を発効日として、国際付則第 2 条第 5 項 (a) を、「30 日」との語句を削除して「60 日」との語句に差し替えることにより改正する。

■国際大会が開催できない場合には、国際理事会に対し、執行役員および国際理事選出のための代替手段を承認する権限を与えることを可決。これにより、

国際会則第 5 条第 4 項 (a) を改正し、第 4 項 (a) の最後に以下の文言を挿入する。

「ただし、政府の規制または協会が抑制できない外部事象により国際大会が開催できない場合には、執行役員および国際理事を選出するための代替手段が、国際理事会によって承認されることがある。それ以外の点では、選挙は、本会則及び付則の規定に従って行われるものとする。」

■地区ガバナーの空席補充のための特別会議においては、任命により役職に就いている者から投票権を取り除くこと、かつ有資格の出席者全員に対して 15 日前に通知が行われなければならないとすることを可決。これにより、

国際付則第 9 条第 6 項 (e) を、その 2 文目の「リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、幹事及び会計又は幹事兼会計」を削除することにより改正する。

さらに、国際付則第 9 条第 6 項 (e) を、その 4 文目の「案内を」の後に「その会議の 15 日前までに」との文言を加えることにより改正する。

■第二副地区ガバナーの資格要件を変更し、地区ガバナーを過去に務めたライオンは第二副地区ガバナーとして選出される対象とならないようにすることを可決。これにより、
2022 年 7 月 1 日を発効日として、国際付則第 9 条第 6 項 (c) を、以下の文言を新たな (4) として挿入することにより改正する。

「(4) 地区ガバナーとして全期または過半の期間務めていない。」

■大会中 3 日間にわたって投票を行うという現行のやり方を反映させるために、国際大会の選挙時間を修正することを可決。これにより、

国際付則第 2 条 6 項を、その 3 文目の「の最終日に選挙を行うための時間」を削除して「で選挙を行うための日時」に置き換えて改正する。

■国際理事会における委員会名を「マーケティング・コミュニケーション委員会」から「マーケティング委員会」へと変更することを可決。これにより、

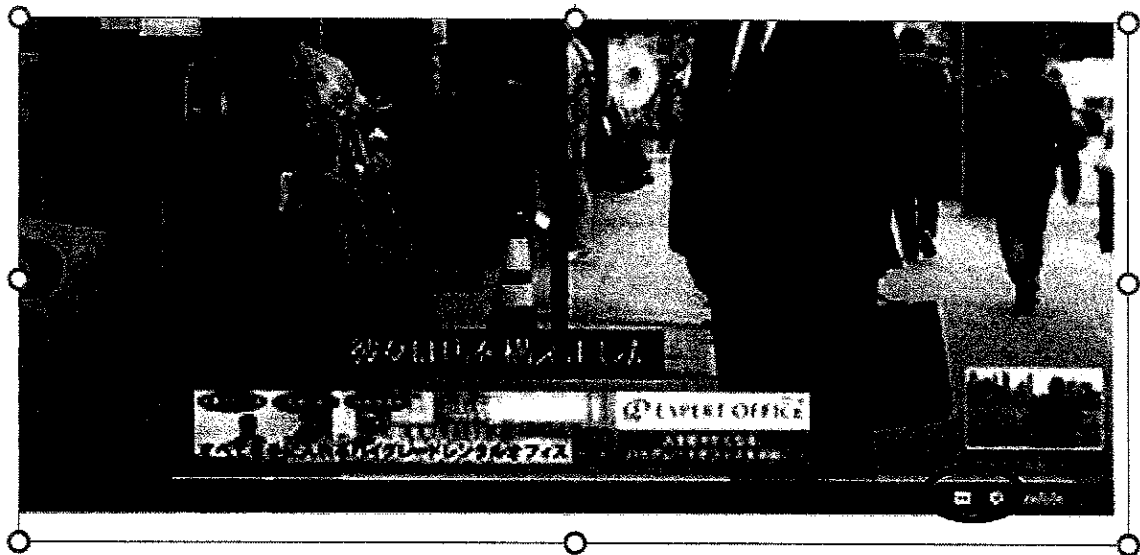
国際付則第 4 条第 1 項(i)を、「マーケティング・コミュニケーション」との語句を削除して「マーケティング」との語句に差し替えることにより改正する。

バーチャル国際大会の結果及び新年度国際会長テーマについて

■新国際会長のテーマ文書を添付いたしました。この文書およびバイオビデオ(会長を紹介するビデオ)は下のウェブサイトからご覧いただけます。

<https://www.lionsclubs.org/ja/discover-our-clubs/presidential-theme>

ビデオは日本語字幕をつけてご覧いただけます。Youtube 下にカーソルを合わせ、CC をオンにしたあと、その右にある設定をクリックして日本語を選んでください。



国際大会のパレード入賞者、奉仕チャレンジの結果などは <https://lclcon.lionsclubs.org/ja/> からご確認いただけます。

国際大会登録者は、7 月 31 日まで国際大会にログインして見逃したセミナーや行事をいつでも視聴いただくことが可能です。その後のビデオの共有等については、現在確認しております。

■選挙の結果と 2021-2022 年度理事会配置について

第 3 副会長はブラジルのファブリシオ・オリヴェイラが当選しました。国際理事会の構成は添付の通りです。あわせて、2021-2022 年度 LCIF 理事会の構成も添付をご確認ください。

本件に関する照会先
ライオンズクラブ国際協会
オセアル調整事務局
03-4589-4972 yoshiko.merz@lionsclubs.org